

令和6年度

丹波市の教育

実施計画

『地域に誇りを持ち 自分たちの未来を創る 人づくり』
～ 一人ひとりが未来の創り手に ～

丹波市教育委員会

基本理念

ふるさとを愛しこころ豊かでたくましい人づくり

基本目標

『地域に誇りを持ち 自分たちの未来を創る 人づくり』
～一人ひとりが未来の創り手に～

3つの基本方針と21の具体的施策

令和6年度の重点施策	・・・・・・・・・・P 1
生きる力をはぐくむ学校教育の推進	
1 次世代を生きぬく学力の育成	・・・・・・・・・・P 3
2 豊かなこころの育成	・・・・・・・・・・P 4
3 健やかな体の育成	・・・・・・・・・・P 5
4 丹波市のフィールドを活かした教育の推進	・・・・・・・・・・P 6
5 幼児教育・保育の推進	・・・・・・・・・・P 7
6 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進	・・・・・・・・・・P 8
7 人権教育の推進	・・・・・・・・・・P 9
生涯を通じて学び、活躍できる生涯学習の推進	
1 地域の将来を担う人づくり	・・・・・・・・・・P 10
2 学びの成果を活かせる社会教育	・・・・・・・・・・P 12
3 地域資源を活かした学びの推進	・・・・・・・・・・P 14
4 文化芸術に親しむこころ豊かな市民生活の醸成	・・・・・・・・・・P 15
5 暮らしにとけこむ図書館づくり	・・・・・・・・・・P 16
6 歴史文化遺産の保存・活用と継承	・・・・・・・・・・P 17
7 家庭教育の充実	・・・・・・・・・・P 18
8 豊かな人権文化を創造する人権教育	・・・・・・・・・・P 19
学びを支える環境の整備	
1 教職員の資質・能力及び学校の組織力の向上	・・・・・・・・・・P 20
2 学校給食の充実	・・・・・・・・・・P 21
3 安全・安心な学習環境の整備・充実	・・・・・・・・・・P 22
4 学校の適正規模・適正配置	・・・・・・・・・・P 23
5 教育委員会活動の活性化	・・・・・・・・・・P 24
6 魅力向上につながる施策の展開	・・・・・・・・・・P 25
施策成果指標一覧	・・・・・・・・・・P 26

令和6年度丹波市の教育（実施計画）重点施策

令和6年度は第2次丹波市教育振興基本計画*の最終年であることから、現計画の成果と課題を明らかにし、第3次計画につないでいく重要な年となります。

国においては、第4期教育振興基本計画*が策定され「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイング*の向上」が重要なコンセプトとして掲げられました。加えて、こども基本法*が施行され、「こどもまんなか社会*」の機運が高まっています。

令和6年度の丹波市の教育では、これまで一般的なウェルビーイング*の要素とされてきた自己肯定感や自己実現に加えて、利他性、協働性、社会貢献意識などの人とのつながりに基づくウェルビーイング*の向上と、子どもの権利が十分に保障されている教育環境をめざし、以下の重点施策を中心に取り組んでまいります。

1. 子どもたちが安心して学べる居場所づくりと支援体制の充実

不登校やいじめなどについての相談・支援体制の充実を図るとともに、スクールカウンセラー*、スクールソーシャルワーカー*の効果的な活用をすすめる。不登校やいじめ、発達障害や性的マイノリティ*の子どもたちへの対応や学校の決まりの見直しなど、発達支持的な生徒指導*の充実を図る。

丹波市立教育支援センター「レインボー」による学校訪問や相談活動、教職員研修を充実させるとともに、関係機関との連携を充実させる。

語学指導者の派遣など、日本語指導が必要な児童生徒が、基本的な日本語力を身につけ、充実した学校生活を送ることができるよう支援する。

2. 主体的・対話的で深い学び*の充実と子どもたちの人権を尊重する取組の推進

児童生徒が目的に向かって自己調整*しながら学習する授業や、主体的に取り組む授業を推進する。

1人1台端末を効果的に活用した個に応じた指導や、教育データを利活用した個別最適な学びを推進する。

保育士のキャリアステージや課題に応じた研修を実施し、高い専門性や指導力を有するリーダー職員の育成をすすめる。

教職員自身の人権感覚や人権意識を高め、人権教育の実践力及び専門性の向上、若手教員への実践の継承をすすめる。

3. 地域資源やフィールドを活かした「丹波市ならではの」学びの推進

「たんばふるさと学*」など、地域の魅力ある教育資源（人・もの・こと）を活用し、地域への愛着や誇りを醸成する教育を推進する。

丹波市内の企業や経営者の考えに触れながら課題解決能力を高める「丹波市

版アントレプレナーシップ教育*」の充実を図る。
丹波竜化石を題材にした理科学習の充実や、交流学习「竜学*」の実施など、丹波竜を教育資源としたふるさと意識を醸成する教育を推進する。

4. コミュニティ・スクール*と地域学校協働活動*の一体的な推進

先進的な実践発表や取組を交流する「丹波市CSフォーラム・連絡会」を開催し、コミュニティ・スクール*の深化・充実を図る。
地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員*のコーディネート力の向上と新たな推進員の育成を図るための研修を実施する。
学校と地域住民や地域の企業との連携を深め、中学校での「トライやる・ウィーク*」、小学校での「たんばふるさと学*」の取組を充実させる。

5. 学校教職員の働き方改革の推進と資質・能力の向上

地域学校協働活動推進員による地域ボランティアスタッフの発掘・活用や、スクール・サポート・スタッフ*の全校配置など、教職員の働き方改革につながる持続可能な取組を実施する。
部活動指導員*の増員配置により、教員の負担軽減を図るとともに、休日部活動の地域移行を推進するため、部活動検討委員会を開催する。
市教委主催の授業づくりに係る研修会を充実するとともに、指導主事を派遣するなど各学校における校内研修の推進を支援する。

6. 子どもたちの学びの環境整備

市島地域の小学校統合による施設改修を実施し、より良い教育環境を整備する。
熱中症対策の一環として、すべての中学校体育館に空調施設を整備し、災害級の暑さから児童生徒を守り、安全で安心な学校施設整備を推進する。
1人1台端末のさらなる利活用と協働的で双方向的な授業スタイルを実現するため、すべての普通教室に電子黒板を設置する。

7. 社会教育事業・施設の更なる充実

市民の暮らしにとけこむ図書館づくりをめざし、今後10年間の「図書館のあり方」を策定する。
植野記念美術館での「丹波ゆかりの作家による企画展」の開催や、中央図書館での「絵本作家による記念講演会」の開催など丹波市制20周年記念事業を実施する。
丹波竜化石工房の拡充工事と丹波竜の里公園周辺整備を実施し、教育普及*機能の充実を図る。

I 生きる力をはぐくむ学校教育の推進

1 次世代を生きぬく学力の育成

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 自学自習できる力を養う主体的・対話的で深い学び*の充実

- 児童生徒が自ら課題を解決する能力を育成するため、個別最適な学び（指導の個別化と学習の個性化）と協働的な学びを関連付けながら一体的に取り組み、目的に向かって自己調整*しながら学習する授業づくりを推進する。また、児童生徒が主体的に取り組む授業の推進を図り、探究的な学びを実現するため、推進会議や各種研修会を実施する。

専科教員（算数、理科、体育、外国語）研修会の実施

丹波市授業改善推進会議の開催

- 全国学力・学習状況調査や丹波市学習定着度調査の結果を分析・活用し、読解力、思考力などの基盤的な学力を確実に育成する学びの実現に向けた授業改善を推進する。

丹波市学習定着度調査の実施

- 読書活動で考えを書く活動を推進し、豊かな言語能力や基礎的な読解力を育成する。

読書マイスターの認定証交付や学校図書サポーター*の派遣（小・中学校）

2 1人1台端末の活用による新たな学びの創造

- 1人1台端末を効果的に活用し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、確かな学力*を保障する個に応じた指導の充実を図る。また、目的に応じて教育データの利活用を通じた個別最適な学びを実現させる授業づくりを推進する。

GIGA スクール構想*推進リーダー研修会の実施

学習支援システムの活用推進 指導者用デジタルブックの活用推進（小学校）

デジタル採点システムの効果的な活用推進（中学校）

- 学校生活の中で身に付けた情報活用能力（プログラミング的思考や ICT*を活用する力を含む）を学習の基盤となる資質・能力と位置づけ、自ら課題を発見し、主体的に課題解決を図るなど、情報活用能力を教科の学びにいかすとともに、探究の過程で自らの考えを深める取組の推進を図る。

情報活用能力系統表（身につけておきたい姿）に基づく年間指導計画（各校）の実行

小学校プログラミング教育の実施（各学年5時間以上）

1人1台端末を活用した読書活動の推進

3 人とつながり、コミュニケーション能力を高める外国語教育の推進

- 多様な文化的背景を持つ人々と主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、ALT*及び地域人材を積極的に活用した授業づくりに取り組むとともに、ICT*を活用した外国語指導や国際交流学習を実施する。

ALT*の配置や地域人材を活用した授業の実施

ネット de イングリッシュ*や E-letter*の実施

多文化交流 Day*の実施

- 自らの英語力を伸ばしていこうとする意欲を高めるとともに、英語を通じて多様な人と主体的にかかわりコミュニケーションを図ろうとする資質・能力の育成に取り組む。

中学校3年生を対象にした英語検定受験料の助成（英語検定チャレンジ事業）

英語検定に向けた ALT*などによる受験前練習の実施（英検チャレンジ応援隊）

2 豊かなこころの育成

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 児童生徒が安心して学べる居場所づくり

- 丹波市立教育支援センター「レインボー」において、児童生徒や保護者、教職員が抱える不登校やいじめ、子育て、児童生徒への指導など、様々な内容についての相談・支援体制の充実を図るとともに、教職員のキャリアステージに応じた研修機能の充実といじめや不登校の理解促進に向けた情報発信の強化を図る。また、スクールカウンセラー*やスクールソーシャルワーカー*の効果的な活用による多様な児童生徒への個別最適な支援の充実を図る。

レインボー教室*、教育相談室、学校いじめゼロ支援チーム*による学校訪問の実施
社会的自立をめざした支援の充実を図るための不登校担当者研修会の実施

- 「生徒指導提要*」に基づき、いじめや不登校をはじめ、発達障害や性的マイノリティ*の児童生徒への対応や学校のきまりなどを見直し、積極的な生徒指導をすすめるための発達支持的生徒指導の充実を図る。また、児童生徒が学校生活を通して仲間や教師との信頼関係を築き、人とのつながりや絆をはぐくむことで、安心して学べる学級・学校づくりをすすめる。

学級経営研修会、問題行動等小中連絡協議会の実施

「丹波市いじめ防止基本方針」に基づき、教職員のいじめ認知力の向上を図り、すべての児童生徒がいじめの傍観者にならないための取組を充実させるとともに、児童生徒が主体となった現状把握・縦横のつながりの充実・課題解決に向けた取組の具体化を図ることができるいじめ・暴力防止運動を展開する。

中学生の実行委員会を主体にした「いじめ・暴力ゼロ市民運動」の実施

SOS の出し方に関する教育プログラムの実施

- 児童生徒の悩みや困りごとを相談できる体制の充実を図るため、電話、メールによる相談窓口や、「いじめ報告・相談アプリ STANDBY*」による相談窓口の活用を促す。

SNS*相談窓口の活用推進に向けた「脱いじめ傍観者教育」の実施

2 豊かな人間性、社会性をはぐくむ指導の充実

- 児童生徒が他者や自己との「対話」を通して、物事を多面的・多角的に捉え、自分自身の道徳性を豊かにできる授業づくりに努めるとともに、兵庫版道徳教育副読本*の活用や地域やふるさとに視点を当てた教材の活用など指導方法の工夫改善に努める。
- 児童生徒の学校や家庭での ICT*活用の増加や SNS*トラブルの増加を踏まえ、学校・家庭・地域が連携した情報モラル*教育研修を推進するとともに、効果的な ICT*活用教育の充実に向けた取組を推進する。

親子が共に学ぶことができる情報モラル*教育研修会の実施

丹波市 PTA 連合会や各単位 PTA との連携を強化し、地域ぐるみで情報モラル*教育の充実を図るための周知・啓発の実施

3 健やかな体の育成

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 体力向上の取組の推進

- 運動への興味関心を高め、体力向上や運動習慣の定着を図ることができるよう、小学校へ専門性に優れた地域人材や中学校教員を体力アップサポーター*として派遣する。また、普段の外遊びや運動経験を重視し、教育活動全体を通じて運動に慣れ親しむ機会の充実に図り、主体的に運動する意欲や態度の育成に取り組む。

体力アップサポーター*派遣事業の実施

- 基礎トレーニングハンドブック*、元気アップチャレンジシート*などを活用し、体づくり運動の充実に図る。また、武庫川女子大学と連携し、体力向上を図るための効果的な活動についての研究に取り組む。

武庫川女子大学と連携した丹波市体力アップ支援事業の実施

(認定こども園、小・中学校対象)

2 食育・健康教育の推進

- 体験活動や地域人材を活用した活動や食育実践の工夫改善を行い、各校に応じた食育全体計画の見直しを図る。家庭・地域と連携しながら、学校における食育の充実に向けた体制づくりを推進し、栄養教諭を中心に学校教育全体で組織的・継続的に取り組む。
- 自らの健康を適切に管理し改善できるよう、家庭や健康課などと連携し、ICT*活用による健康課題などに対応した取組を推進する。

食育推進状況調査の実施

3 防災・安全教育の推進

- 地域、専門機関と連携しながら、想定や時間などを工夫した実践的な避難訓練を推進するとともに、具体的な活動を通して地域との連携をすすめ、学校防災体制の充実に図る。また、緊急時に有効に機能するよう危機管理マニュアルの見直しを図る。

地域と連携した防災訓練の実施

- 丹波市の豪雨災害の経験や教訓をつなぎ、児童生徒が自然災害から自らの命を守る適切な判断力や主体的に行動する態度を育成できるよう、「丹波市防災教育モデルプラン*」及び丹波市防災教育教材「心つなぐ」*や動画教材などを活用した防災教育を実施する。
- PTAや地域と連携して危険箇所の点検を行うとともに、児童生徒が日常生活に潜む危険を予測し行動できるよう、丹波警察署やくらしの安全課と連携した安全教育を推進する。

4 丹波市のフィールドを活かした教育の推進

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 地域の教育資源を活用したふるさと意識の醸成

- 地域や社会の課題に興味・関心をもち、地域の教育資源（人・もの・こと）を活用したり、ICT*を活用したりしながら、自分たちの住む地域の課題解決に向かう学習を行う中で、ふるさと丹波を愛し、地域に誇りを持てる教育の充実を図る。

たんばふるさと学*、ふるさと教育展示会の実施

「丹波市のフィールドを活かした教育ガイド*」を活用した教育活動の実施

- 貴重な教育資源である丹波竜の化石などを題材にした学習を展開することによって、ふるさと意識の醸成を図るとともに自らの学びを情報発信する力をはぐくむ。

にっぽん恐竜協議会構成市町*との交流学习「竜学*」の実施

2 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

児童生徒一人ひとりが社会の一員としての自覚と誇りを持ち、将来を見据えて自らが主体的に判断し、目標に向かって努力する態度や能力を育成するために、兵庫県版キャリア・パスポート*や丹波市版キャリアノート*を活用したキャリア教育*を推進する。

アントレプレナーシップ教育*活性化事業の実施（中学校）

地域と連携したアントレプレナーシップ教育*の充実（全中学校）

- 児童生徒の情報交換や効果的な支援のあり方、すべての児童生徒の可能性を引き出す個別最適な学び、協働的な学びの充実についての研修をすすめるため、小学校と中学校、中学校と高等学校の連携を深める。また、中学校と高等学校が地域課題に目を向けた地域探究型の学習活動を通して交流することにより、相互のキャリア形成並びにふるさと意識の醸成を図る。

ふるさとへの誇りと愛着をはぐくむ教育に係る丹波市中高連携事業の実施（全中学校、市内3高等学校）

丹波市中高連携協議会の開催

- 学校運営協議会*や熟議*において、育てたい子どもの姿や身につけさせたい力を共有し、学校・家庭・地域が連携した教育活動の充実を図り、地域性をいかしたカリキュラム・マネジメント*の実現を図る。

丹波市CSフォーラム・連絡会の開催

5 幼児教育・保育の推進

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 幼児教育・保育の質の向上

- 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、子どもの主体的な活動を促し、園児一人ひとりの育ちを捉えた保育の工夫・改善を図る。

公開保育研修会の実施

幼児教育・保育研修会の実施

- キャリアステージや課題に応じた研修により、保育者の専門性や指導力を高めるとともに、リーダー的職員の育成を支援する。

保育士等キャリアアップ研修会の実施

子どもの人権を守る研修会の実施

- 若手保育者が同世代で実践交流することにより、保育の情熱や意欲を高め、指導力の向上を図ることができるよう支援する。

若手保育教諭研修会の実施

0歳児から2歳児における保育の質の向上をめざし、保育実践コーディネーターによる認定こども園への巡回支援体制を整える。

保育実践コーディネーターによる巡回支援

- 保育カンファレンスにより子ども理解の視点を磨き、遊びの中の学びを捉えた保育の工夫・改善を図ることができるよう、園内研修を推進する。

園内研修への指導主事の派遣

2 幼児教育と小学校教育の円滑な接続

- 子どもの姿を捉え、育ちや学びの連続性を重視した指導計画やカリキュラム・マネジメント*の理解推進を図る。

カリキュラム・マネジメント*研修会の実施

- 幼児教育と小学校教育の内容や指導方法の違いについて、認定こども園と小学校の教職員の相互理解を深め、学びの連続性を重視した円滑な接続を、アプローチプログラム*やスタートカリキュラム*を活用して推進する。

園小の交流活動、相互参観、合同研修会の実施

6 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 教育的支援が必要な子どもの学びの充実

全教職員を対象に、子ども理解や適切な教育課程の編成についての研修を実施し、多様な児童生徒のニーズに対応した個別最適な学びの充実に向けた取組を推進する。

特別支援教育コーディネーター研修会の実施（年2回）

特別支援教育セミナーの実施

特別支援教育支援員*、介助員・看護介助員研修会の実施

通級指導にかかる連絡会の開催

- 「縦横連携」を推進し、就学前から卒業後も切れ目なく支援を受けることができるよう、丹波市サポートファイル*や中学校高等学校連携シート*などを活用しながら、家庭・福祉・医療などの関係機関との連携を図る。

丹波市特別支援連絡協議会の開催

特別支援にかかる教育相談の実施

特別支援学級サポート事業の実施

- 特別支援学校の副次的な学籍を活用し、地域とつながり、互いに支え合う共生社会を実現するために、居住地校交流を積極的に推進する。

副籍*をいかした特別支援学校と居住地校との交流

2 丹波市立教育支援センター「レインボー」の支援体制の充実

- いじめ、不登校、ヤングケアラーなど、支援が必要な児童生徒に寄り添い、個に応じた適切な指導や支援を行うため、丹波市立教育支援センター「レインボー」における相談活動や関係機関との連携を充実させ、支援体制を整える。

レインボー教室*、教育相談室、学校いじめゼロ支援チーム*による学校訪問の実施

丹波市立教育支援センター「レインボー」による職員研修の実施

教育相談及び臨床心理士による発達検査の実施

- 不登校などの支援が必要な児童生徒に対して、将来の社会的自立をめざした対応を充実させるとともに教育的ニーズに応じた支援が行えるよう学びを止めない学習環境を充実させる。

デジタルドリル*などのオンライン学習の実施

オンラインでの授業参加体制の充実

3 多文化共生社会の実現をめざす教育の推進

- 日本語指導が必要な児童生徒*の多様な背景を受けとめ、心の安定を図るとともに、基本的な日本語力を身につけ、充実した学校生活を送ることができるよう支援する。

外国人児童生徒語学指導者*の派遣

遠隔通訳サービス、自動翻訳機の導入

- 外国につながる子どもたち*の文化的・言語的な背景を尊重し、自己実現に向けた支援を行うとともに、すべての子どもたちが国籍や文化などの違いを認め合い、多様な背景を持つ人々と共に生きようとする意欲や態度の育成に向けて取り組む。

多文化交流 Day*の実施

7 人権教育の推進

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 差別や偏見、いじめを許さない意識や実践力の育成

- 差別や偏見、いじめなどの人権侵害を児童生徒が発達段階に応じ、正しく理解するとともに、一人ひとりの人権を大切にされた適切な態度や行動がとれるよう取組をすすめる。

学級経営研修会の実施

- 同和教育が人権教育の重要な柱であると捉え、人権の意義・内容や重要性について理解を深めるとともに、人権課題を解決しようとする実践的な行動につなげる。また、人権に関する知的理解や人権感覚を高めるとともに、「共に生きる共生社会」の実現に向け、学校教育活動全体で取組をすすめる。

地域別小学校人権交流会（小・中交流含む）の実施：6地域

地域人権教育事業による中学校人権学習交流集会の実施

- 教職員自身の人権感覚や人権意識が、児童生徒にとって重要な教育環境であるとの認識を深めるとともに、同和教育、人権教育を基盤とした学習をすすめるために教育実践力及び専門性の向上、若手教員への実践の継承に取り組む。

丹波市人権教育研修会の実施（初任～3年次研修該当者及び若手教員含む希望者）

- 人権資料や実践記録などの共有、活用整備に努め、指導内容の工夫改善を図る。

2 新たな課題に対応する人権教育の推進

- 共生社会の実現に向けて、ドメスティック・バイオレンス（DV）*、多様な性（LGBTQ+）*などの人権にかかわる課題に対する理解につなげ、男女の平等や相互理解・協力・共同を基盤に児童生徒一人ひとりがその個性や能力をいかし豊かに共生していく教育に向けて取組をすすめる。

デートDV防止の授業実施（全中学校）

- 情報モラル*教育を通して、情報社会の影の部分に関する事例から、危険回避の具体的な方法や情報セキュリティの知識、ルールづくりの必要性などの理解を深め、ネットによる人権侵害などに対応する人権教育を推進する。

情報モラル*研修会の実施（全小中学校）

Ⅱ 生涯を通じて学び、活躍できる生涯学習の推進

1 地域の将来を担う人づくり

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 地域学校協働活動の推進

- 地域学校協働活動推進員*のコーディネートにより、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、地域全体で子どもの成長を支えていく社会の実現をめざし、「学校を核とした地域づくり」を推進するため、新たな地域学校協働活動推進員*の育成と、地域と学校をつなぐコーディネート力の更なる向上を図るための研修の機会を設ける。
- 地域学校協働活動推進員*を中心としたコミュニティ・スクール*と地域学校協働活動の一体的な推進を図るため、地域学校協働活動推進員*間の情報共有や意見交換の場づくりを行う。

地域学校協働活動推進員*協議会の開催

2 コミュニティ・スクール*の深化・充実

- 学校運営協議会*において、地域住民の方が熟議*や学校運営に参画する機会を設け、学校・家庭・地域で情報及び課題・目標・ビジョンを共有することで、地域とともにある学校づくりや課題解決に向けた持続可能な取組を推進する。また、市内の先進校の実践発表や各校の取組について交流することで、コミュニティ・スクール*の深化・充実を図る。

丹波市 CS フォーラム・連絡会の開催

全小中学校において学校運営協議会*と地域学校協働活動の一体的な推進を図る。地域の実情に合わせた活動となるように、中学校でのアントレプレナーシップ教育*やトライやる・ウィーク、小学校でのたんばふるさと学*などの取組を充実させ、地域住民の方や企業などとの連携を深める。

アントレプレナーシップ教育*活性化事業の実施（中学校）

地域と連携したアントレプレナーシップ教育*の充実（全中学校）

たんばふるさと学*の充実（全小学校）

3 子どもたちの成長を支える体制づくり

- 市内の豊かな自然や文化、様々な社会資源をいかした体験活動を通じて子どもたちの「生きる力」と地域への愛着をはぐくむとともに、子どもの成長を支える活動に参加する大人を増やすことを目的として、親子で共に楽しめる内容を中心とした講座やイベントを開催する。各講座やイベントは、地元の高校生や地域の大人を講師とし、丹波市子ども会育成協議会をはじめ各関係機関と連携・協働して実施する。

青少年育成事業の実施

4 子どものスポーツ機会の拡大による健全な心身の育成

- 次世代の小中学生が野球を始めるきっかけや競技を継続していく目標となるように、第

28 回全国高等学校女子硬式野球選手権大会を開催することによって、「女子野球タウン」として“女子野球”を通じたスポーツ活動の推進、地域の活性化を図る。

選手権大会の開催、道の駅「丹波おばあちゃんの里」内、「丹波ええとこナビ」での PR

- ちーたん駅伝などの実行委員会、スポーツ協会、スポーツ推進委員など関係者と協力し、ニュースポーツの普及啓発やラジオ体操講習会・ちーたん駅伝大会などのスポーツ大会や研修会を開催することにより、子どものスポーツ機会を創出する。
- 丹波市スポーツ協会や地域スポーツの関係者などと連携し、子どものスポーツ環境の向上を目的とした指導者への研修会を開催する。

スポーツ指導者資格取得補助事業や普通救命講習会などの実施

2 学びの成果を活かせる社会教育

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 知識循環型生涯学習の推進

丹波市まなびの里づくり協議会の提言書を踏まえ、第2期丹波市生涯学習基本計画を策定する。

- 学校・家庭・地域・行政それぞれが子どもの成長にかかわる当事者となり、協働する体制を構築するため、「地域から考える学びの未来会議」を開催し、地域で行われている学びの掘り起こしやネットワーク化について協議し、大人も子どもも学び合える地域づくりをめざす。

2 年代に応じた様々な学習機会の提供

- 生活課題を解決するための知識や体験を、仲間との交流を通じながら楽しく学び合い、心豊かな高齢期を過ごすことを目的とした学習機会を提供する。
また、高齢者が自宅でも気軽に学ぶことができるように、FM ラジオを活用した教養講座を実施する。

TAMBA シニアカレッジの開催

TAMBA シニアカレッジラジオ講座の開催

- 身体に障がいのある方やボランティアスタッフを対象とした、社会参加や活躍を促進する社会教育事業として、兵庫県身体障がい者社会学級を丹波篠山市と合同で開催する。
一般教養や実用的な知識、技能を習得する講座、レクリエーションのほか小学生との交流を通じ、相互理解や共に生きる喜びを創造する事業を展開する。

丹波青い鳥学級（視覚障がい者） 丹波くすの木学級（聴覚障がい者）の実施

- 丹波市の未来を担う二十歳の若者が夢や希望を語り、丹波市への愛着と誇りを感じながら、互いに学び合う場となることを目的として、丹波市二十歳のつどいを開催する。
- 市民活動や地域づくり活動を総合的に支援している丹波市市民活動支援センター*における地域へのアウトリーチ機能を強化し、地域ニーズの把握や課題解決に向けた人材育成事業を展開する。

3 地域主体の学習の場づくり

- 人権意識を高める学習活動事業や地域コミュニティ形成のための事業に主体的に取り組む自治公民館に対して自治公民館活動補助金を交付し、地域主体の生涯学習の振興と充実を図る。
- 自治公民館の館長や主事を対象とし、活動を行う上で課題となるテーマを取り上げた「自治公民館担当者研修会」を実施する。
- 高齢期の生きがいづくりや仲間づくりを目的とした高齢者団体が、自主的かつ継続した活動ができるように、丹波市広報や丹波市ホームページなどで会員募集するなど地域高齢者学級に対する市の相談・支援機能を充実させる。

4 市民による公益活動への支援

- 丹波市市民活動支援センター*において、各種活動団体や地域づくりの情報、イベント情報、活動に必要な補助金情報の発信、まちづくりに関する講座、研修会、交流会の開催などを行い、市民主体による市民活動や地域づくり活動を支援する。
 - ホームページ・SNS*、チラシ配架など団体情報の発信
 - 丹波市市民活動支援センター*情報誌「tam tam」の発行
 - 市民プラザ大交流会の実施
 - 団体設立・組織運営・活動などの相談
- 丹波市活躍市民によるまちづくり事業応援補助金を交付し、市民が主体となって取り組む社会的、地域的な課題解決や地域の活性化につながる公益的な活動を支援する。

3 地域資源を活かした学びの推進

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 丹波竜化石の活用

丹波竜化石工房の将来的な継続に向けて、丹波竜をはじめ篠山層群*産化石を中心にした展示や教育普及機能の充実に図り、施設機能を強化するため、丹波竜化石工房拡充基本計画に基づき拡充工事を行います。

丹波竜化石工房拡充工事関連業務の実施

- 篠山層群*（前期白亜紀）の自然環境や、篠山層群*から発掘された古生物の化石などから、地域の特色や自然及び恐竜などの古生物について学び、ふるさとを理解し誇りに思う心を醸成するため、地元の協力を得ながら発見現場周辺と丹波竜化石工房を活用した学習機会を提供する。

学習プログラム、出前学習の実施

- 篠山層群*に関する情報発信施設として、来館者に地層や化石など地域の豊かな自然環境や特性を伝えるため、魅力的な展示などを行う。

夏期特別展、セミナー、ワークショップの開催

丹波竜の里公園と化石発見現場周辺の一体的な機能の強化や、丹波竜化石工房と発掘現場周辺の更なる連携強化を図る。

丹波竜の里公園周辺整備工事の実施

2 丹波布の活用

- 国の選択無形文化財である丹波布の伝統文化の保存と後継者の育成のため、糸紡ぎ、草木染め、機織りなど丹波布の一連の工程を基礎から学ぶ長期伝承教室を開講する。

第14期長期伝承教室（期間：令和6年4月～令和8年3月）

- 丹波布の魅力を生内外に発信するため、体験教室を実施する。また、ふるさとへの愛着心をはぐくむために、地元である青垣小学校を中心に、出前講座を実施する。

短期伝承教室、糸紡ぎ教室、染め教室、織り教室

3 博学連携*の推進

- 各社会教育施設（丹波竜化石工房・植野記念美術館・氷上回廊水分れフィールドミュージアム・青垣いきものふれあいの里・歴史民俗資料館・図書館）の学芸員などによる出前講座や解説の充実に、学校の施設利用を促進する。また、施設と学校の移動時間の負担を軽減するため、タブレット端末などを活用したオンラインでの学びを提供する。

学校への出前講座の実施、オンラインによる館内見学・解説の実施

- 青垣いきものふれあいの里が県立氷上高等学校と連携し、高校生が施設情報の発信など博物館運営にかかわることで、ふるさとに愛着や誇りを持ち、将来の地域づくりの担い手となる人材を育成する。
- 各社会教育施設が連携して、共通リーフレットの発行や合同事業を実施することにより、社会教育施設の利活用を推進する。

連携紙「わっと！みゅーじあむ」の発行

4 文化芸術に親しむこころ豊かな市民生活の醸成

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 美術館事業の充実

- 令和6年度に丹波市は市制20周年を、植野記念美術館は開館30周年を迎える。これを記念し多くの人々が美術館に親しみをもち、集える展覧会を開催する。

中尾英武受贈記念展、手塚治虫展、シャガール展、安田家所蔵作品受贈記念展の開催

- 展覧会での子どもから大人までの幅広い年齢層を対象としたワークショップや講演会、また学校などと連携した美術鑑賞などを通じて教育普及活動を行い、美術館での学習の輪を広げるとともに市民の学習意欲の醸成に努める。
- 市内博物館施設と相互に連携を図り、各施設が実施する展示・イベント情報を共有し、効果的にPRができるように取り組む。
- 地域に開かれた美術館として、地域で活動している作家を紹介する展示の実施や地域ゆかりの物故作家の作品調査や収集、紹介に努める。

館蔵品図録などの整備

2 文化ホール事業の充実

市立文化ホールでは、市民によるボランティアオペレータースタッフとともに市民参画型による「丹波市ならではの」のホール運営を安定的に継続し、舞台スタッフなどの人材育成をより充実させるため、市立文化ホール運営業務を一般社団法人ネクストゼロに委託し、人づくりと地域づくりをさらに推進する。また、市民が気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図るため、市民のニーズや目的に合った特色ある文化ホールイベントを開催する。

クリスマスコンサート、高校生企画(卒業ライブ)の開催

文化芸術体験講座「はじめての一步講座(伝統芸能体験・和楽器体験など)」、オペレーター養成講座の開催



3 市展開催事業の充実

- 文化芸術活動への参加促進を図るため、丹波アートコンペティション開催の情報発信を強化し、市民の参加(出品)促進を図る。

文化芸術体験講座「はじめての一步講座(絵画・工芸創作体験など)」の開催

- 丹波アートコンペティションにあわせ、植野記念美術館で「新人賞受賞者展」を同時開催するとともに、丹波アートコンペティション審査員が講師になる美術講座「アートの Pais」を開催することにより、文化芸術を担う若手芸術家の発掘・育成に取り組む。

5 暮らしにとけこむ図書館づくり

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 多様な図書館サービスの提供

- 市民プラザや歴史民俗資料館、美術館などと連携し、市民プラザを会場とした大きなおはなし会、指定文化財を会場とした昔話のおはなし会、美術館の企画展に合わせた図書の展示や図書館を会場とした各種講座を開催し、図書館資料の利用を促進する。
- 図書館に来館するきっかけづくりとして、福袋企画(子ども向け・大人向け)やリサイクル市を継続するとともに、新たなイベントの実施を検討する。
家庭に居ながら図書の貸出・閲覧・返却ができる「たんばし電子図書館」について、学校単位での活用などを含めて、より一層の利用促進に取り組む。



2 市民協働による図書館運営の推進

- 新たな図書館サポーターを養成するための講座を開催する。
図書館サポーター養成講座の実施
- 図書館サポーター登録者の意見を聴取し、協働しやすい活動内容へ見直しを行う。また、サポーターがいつでも気軽に参加できるよう活動日についても工夫を行う。
- 親しみやすい図書館づくりのため、読み聞かせボランティアグループやその他市民、関係部署・施設と連携し、イベント企画をはじめとして市民協働による図書館運営を行う。
市民の暮らしにとけこむ図書館づくりを目指し、今後 10 年間の「図書館のあり方」を策定する。

3 子どもの読書活動の推進

- 本を読むきっかけづくりのツールとなる「読書通帳」について、積極的な周知と継続的な配布を行うことで、読書の習慣づけをさらに推進する。
- 市内小学生(4年生以上)を、子ども読書活動のリーダーとして育成する。
子ども司書*養成講座の実施
子ども司書*認定者のおはなし会での読み聞かせを継続するとともに、子ども司書*の活動を紹介するコーナーを設け、「子ども司書*」制度の取組や家読(うちどく)*について、広く市民に周知するための事業を実施する。
- 子どもたちに本を身近に感じてもらい図書館を気軽に利用してもらえる環境や機能の充実を図るため、学校と図書館がさらに連携・協力し、朝読書用図書(電子図書を含む)や調べ学習用資料の貸出と情報提供を行う。
- 図書館職員が、小中学校や認定こども園へ出向き、読み聞かせやブックトーク*などを実施し、読書活動の支援を積極的に行う。
- 子どもたちに絵本の世界に親しむ機会をつくり、豊かな心をはぐくむ情操教育を行うため、市制 20 周年記念事業として「絵本作家による記念講演会」を開催する。

6 歴史文化遺産の保存・活用と継承

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 市内の歴史・文化遺産の調査と活用

- 指定・未指定を問わず文化財の保存と活用を目的とした丹波市文化財保存活用地域計画*の策定に向けて、地域に残る歴史資料の調査をすすめる。
- 神戸大学との連携による歴史資料の調査結果を周知し、地域の歴史に対する市民の関心を高めるため歴史講座を開催する。
- 開発場所の遺跡の有無を確実に判断する試掘・確認調査を行い、その調査報告書を刊行する。

2 指定文化財の保護

- 柏原の大ケヤキ（木の根橋）を保護するため、根を腐朽させるナラタケモドキ菌の除却や幹付近に発生するコフキサルノコシカケの治療など、樹勢を回復させる治療をすすめる。
- 黒井城跡整備基本計画*に基づいて石垣カルテ*を作成するため、国庫補助事業申請に向けて関係機関との調整をすすめる。
- 指定文化財の修復や民俗芸能などの活動に対し、補助事業による支援を行う。
地域に残る無形民俗文化財について、次世代へ継承するため記録映像のデジタル保存をすすめる。

3 歴史民俗資料館の充実

- 魅力的な企画展の開催や歴史民俗資料館などへの積極的な校外学習の受け入れなどを通じて、市民が地域の歴史に触れる機会の更なる充実を図る。
春日郷土資料館での小学生の校外授業の受け入れ
- 自治公民館や学校において、歴史民俗資料館に所蔵する資料や地域の歴史を題材にした出前講座などを開催する。

7 家庭教育の充実

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 家庭教育の学習機会と情報の提供

- 青少年の健全な育成に向けて学校、家庭、地域が互いに協力する取組を推進するため、家庭教育についての理解を深める研修会を開催する。

丹波市 PTA 連合会研修会の開催

- 家庭教育の重要性を伝えるため、子育て支援担当部署と連携して、乳幼児健康診査などの機会や SNS* を活用しながら、基本的な生活・学習習慣の確立や家庭教育に関する情報を広く発信する。

2 地域ぐるみの家庭教育の意識の向上

- 子どもたちが、基本的な生活・学習習慣や生活能力、豊かなこころをはぐくむことができるよう、コミュニティ・スクール* の熟議* の場において、学校、家庭、地域が担う役割について考え、それぞれが子育ての当事者となる意識の醸成を図る。また、地域学校協働活動の取組などを通して多様な主体と連携し、子どもの成長にかかわる市民の増加を図る。
- 地域全体で子どもをはぐくむ意識の向上や、子育て環境の充実を図るため、丹波市 PTA 連合会が主催する家庭教育に関する研修会に、自治協議会* 関係者、学校運営協議会* 委員、地域学校協働活動推進員*、社会教育委員など幅広い地域住民が参加できるよう働きかける。

8 豊かな人権文化を創造する人権教育

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 市民主体の住民人権学習の推進

- 各自治公民館で実施されている住民人権学習会がより充実したものとなり、市民の人権感覚・人権意識が高まるよう、様々な人権課題に関する情報提供を行うとともに、幅広い市民が参加される学習会となるよう実施方法や学習方法の助言をするなど市民の主体的な学習活動を支援する。
- 住民人権学習推進員*を対象とした研修会を開催し、住民人権学習会の目的や推進員の役割、学習会の手法や教材の活用方法などについて学ぶ機会を提供する。さらに、初めて住民人権学習推進員*となる方からの相談にも丁寧に対応し、基本的な学習テーマ（人権課題）や学習方法、参考資料、学習事例などを掲載した「住民人権学習のすすめ方ガイドブック」を活用しながら、各自治会で学習会が開催しやすくなるよう支援する。

住民人権学習推進員*と住民人権学習支援者*との合同研修会の開催

- 自治会からの依頼に応じて、住民人権学習支援者*が住民人権学習会に参画し、知識と経験をいかして、住民人権学習会の支援を行う。

2 地域・学校における人権学習の推進

- 地域の人権課題や人権意識の高揚を図るため、学校における人権教育の取組と連携しつつ、地域人権教育事業を実施する。実施にあたっては、各校区の取組事例や手法などの情報を事業開始までに担当者会で共有し、より充実した内容となるようすすめる。

6 中学校区における地域人権教育事業の実施

- 市内の中学生が一堂に会して他校生と交流し、人権についての学習を深め、人権意識の高揚を図るため、中学校人権学習交流集会を開催する。

3 職場などにおける人権学習の推進

- 企業・事業所に人権研修支援制度*を周知するとともに、人権学習視聴覚教材（DVD）の貸出についても周知し、企業・事業所の人権学習の推進を図り、人権が尊重され、働きやすい職場づくりや人権尊重の企業活動を支援する。



人権研修支援制度*の活用により開催された学習会の様子

Ⅲ 学びを支える環境の整備

1 教職員の資質・能力及び学校の組織力の向上

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 一人ひとりの資質・能力の向上

教員免許更新制廃止後の「新たな教師の学びの姿^{*}」の実現に向けて、教職員のキャリアステージに応じた、一人ひとりの資質・能力の向上を図る。

※たんば啐琢塾^{*}、ニューリーダー、スクールリーダーなどの研修会の実施

- 主体的・対話的で深い学び^{*}をテーマにした研修を実施し、子どもたちに確かな学力^{*}を保障する授業力の向上を図るとともに、丹波市授業改善推進会議と連携し、校内研修の充実を図る。

GIGA スクール構想^{*}推進リーダー育成研修の実施

丹波市授業改善推進会議の開催

2 学校の組織力の向上

- 小学校における教科担任制による、義務教育 9 年間を見通した教育課程・指導体制の組織的取組を推進する。
- 管理職のリーダーシップのもと、教職員一人ひとりの力を組織的かつ機動的にいかしていくため、管理職（校長、教頭）研修や、コミュニティ・スクール^{*}の機能強化により、協働体制の推進を図る。
- 教職員のメンタルヘルス・ケアの重要性を十分に理解するとともに、職場内のコミュニケーションを増進することなどにより、非違行為、ハラスメントなどの防止や心の通い合う学校運営に取り組む。

長時間労働者を対象とした産業医による面談、ハラスメント研修の実施

3 働き方改革の推進

- スクール・サポート・スタッフ^{*}の配置により、教職員の事務作業などの負担軽減を図ることで、本来業務に注力できる環境づくりを推進し、教職員が心身ともに健康を保ち、元気で児童生徒一人ひとりと向き合える環境と、やりがいがある職場環境を確保できるよう、教職員の業務改善に取り組む。

スクール・サポート・スタッフ^{*}の全校配置

- 学校運営協議会^{*}を通じて、地域学校協働活動推進員などの学校運営への参画を促すことにより、多様な地域人材を活用することで教職員の働き方改革に繋がる持続可能な仕組みづくりを構築する。

管理職研修会の実施（働き方改革研修）

- 学校への勤怠管理システム導入に向けて協議を行い、教職員のタイムマネジメント意識の醸成をめざす。また、管理職のリーダーシップのもと業務を「見える化」して計画的に実施し、早めの退勤に向けて取り組む。

中学校教員の超過勤務時間の大部分を占める部活動について、部活動指導員の増員により教員の負担軽減を行うとともに、部活動検討委員会で他部署と連携・協議し、休日部活動の地域移行を推進する。

部活動指導員の配置拡充

2 学校給食の充実

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 効率的な施設及び厨房機器の更新

- 令和5年度から令和9年度までの5年間の学校給食運営に関する基本的な事項を定めた第3次丹波市学校給食運営基本計画に基づき、学校給食センターの厨房機器及び空調機器を計画的に更新する。

春日学校給食センター厨房機器更新（2期目）

柏原・氷上学校給食センター空調設備工事実施設計業務

2 学校給食費の徴収

- 学校給食事業の円滑な運営及び保護者負担の公平性を図るため、学校給食費の徴収に努める。
- 丹波市学校給食費滞納整理等事務処理要綱に基づき、督促や分納相談に応じない滞納者について、支払督促などの法的措置を講じる。

3 学校給食における地産地消の推進

- 地場農産物の生産時期、収穫量に考慮した献立作成に努める。
- 地元特産物である丹波三宝*を取り入れた献立や、郷土食、行事食を盛り込んだ給食を提供する。
- 学校給食用農産物生産者組織連絡協議会などの関係機関と連携し、地場農産物を安定的、効率的に調達できる仕組づくりをすすめる。
地産地消の一環として、丹波市が推進する有機農業による農産物の使用拡大を図る。

4 学校給食による環境教育

- 食べ残しの削減を目標とした調理方法の改善や、献立の工夫に努める。
- 食品ロス問題について児童生徒が主体となって活動するよう働きかけるとともに、学校単位での食べ残しの堆肥化や学校農園での堆肥の利用などの取組をすすめる。
- 有機農産物や郷土料理を通して、環境を守る意識や生産者への感謝の心をはぐくむ。

3 安全・安心な学習環境の整備・充実

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 安全で安心な学校施設整備の推進

- 丹波市学校施設等長寿命化計画*及び第6次学校施設整備計画*に基づき、これまでの改築中心から既存施設を有効活用する長寿命化改修への転換を図るとともに、トータルコストの低減と事業費の平準化を実施するため、定期的な施設の点検や診断結果を有効に活用し、教育環境の質的な向上を図る。

小川小学校南校舎長寿命化改良工事

竹山小学校統合改修工事実施設計業務

中学校屋内運動場等空調工事実施設計業務

市内小中学校舎・体育館等和式トイレの洋式化及び手洗い場自動水栓工事実施設計業務

市内小中学校舎・体育館等和式トイレの洋式化及び手洗い場自動水栓工事

- 統合をおこなう学校施設については、既存校舎の改築を実施し、改築にあたっては、近年の教育内容・方法に適應するための改修を行うとともに、地域コミュニティにとって必要な機能についても考慮した整備をすすめる。

吉見・三輪小学校統合に向けた吉見小学校校舎整備工事実施設計業務

2 通学路などの安全対策

- PTA や地域と連携し、児童生徒への安全教育・安全指導を行う。
- 小学校の通学路については、通学路安全プログラムに掲載した危険箇所の対応策について、丹波警察署、くらしの安全課、丹波土木事務所、道路整備課との合同会議において進捗状況の確認を行う。また、中学校の通学路についても、通学路安全プログラムと同様の対応を行う。

3 ICT*機器の適切な維持管理と計画的な更新

現在小学校の3年生以上の教室及び中学校の各学年に1台ずつの基準で設置している電子黒板について、1人1台端末のさらなる利活用のため、すべての普通教室に設置する。平成29年度に導入した外部からの不正アクセスを防ぐための通信を制御するファイアウォール装置について、デジタル教科書の利用の増加、様々なコンテンツのクラウド化により、ファイアウォールの処理能力が不足することが予想されるため、より処理能力の高いものに更新する。

現在約600台の校務用パソコン及び約5,000台のタブレット端末を2本の1Gbpsの光回線でインターネットに接続しており、今後1人1台端末の利活用が進むことで帯域が不足することが予想されるため、光回線を1回線増設する。

4 情報セキュリティ対策の強化

- 新規採用教職員及び全教職員を対象とした情報セキュリティ研修を実施し、情報セキュリティに対する職員の意識向上を図る。
- 各種サーバ及びパソコンのセキュリティ対策が確実に実施できるよう、WindowsUpdateなどの定期的なアップデートを実施する。

4 学校の適正規模・適正配置

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 小中学校の統合

- 市島地域市立小学校統合準備委員会吉見・鴨庄・三輪地域部会において決定された吉見小学校、三輪小学校の令和8年4月開校に向け、校歌歌詞や作曲、校章デザインを決定し開校に向けた準備を行う。また、吉見小学校校舎の増改築工事を実施し、開校時必要となる教室数の確保とより良い教育環境を整備する。

協議・調整項目	R6											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
校歌歌詞			決定									
校章デザイン			決定									
校歌作曲			決定	作曲業務								
通学支援	説明や調整											
通学路の安全対策	通学支援の進捗を踏まえ随時確認・協議											
閉校記念補助事業（閉校イベント・閉校記念誌）												令和7年度にかけて協議・調整予定
P T A関係 （組織、規約、財産、会費、役員選出、事業計画・予算、防犯グループ）	学校、P T Aを中心に協議											
C S（コミュニティ・スクール）	学校を中心に協議											

- 第2次丹波市立学校適正規模・適正配置方針*に基づき、複式学級のある学校の地域に統合協議について働きかけを行う。

5 教育委員会活動の活性化

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 広報誌などによるタイムリーな情報発信

- 市民とともにある開かれた教育委員会をめざし、広報紙「教育たんば」において、学校の様子や教育委員会の取組を分かりやすく伝える広報を実施する。
- 広報紙「教育たんば」との差別化を図るため、丹波市教育委員会公式 LINE では、関連施設でのイベント情報や、人材募集情報、注意喚起すべき情報などについて、タイムリーな情報発信を行う。
- 丹波市教育委員会公式 LINE とホームページを連動し、効果的な情報提供を実施する。

丹波市教育委員会公式 LINE
配信画面



2 自己点検・評価の有効活用

- 教育委員や外部評価者による点検・評価をいかすため、上半期経過時点で中間報告を実施し、下半期に向けて事業の進捗状況を確認するとともに、新年度に向けた予算、施策に反映させる。また、自己点検・評価をもとに課題を整理し、現在策定作業をおこなっている第3次丹波市教育振興基本計画に反映させる。

3 関係機関との意見交換と連携強化

- 市長と教育委員会による総合教育会議を開催し、地域の教育課題や子どもたちを取り巻く様々な課題について協議・調整を行い、効率的な教育行政を推進する。
- 教育委員会会議の一層の活性化及び教育委員活動のさらなる充実のため、関係団体や学校管理職などとの意見交換会により連携の強化を図る。
- 教育委員がそれぞれの識見を発揮しながら地域の教育の実態や課題についての協議を深めるため、教育委員発議による教育委員協議会を開催する。

6 魅力向上につながる施策の展開

〔●：重点 ：新規 ：拡充 □：継続 ：主な実施事業〕

1 子どもたちのスポーツ、文化活動の振興

- 市内の学校に在籍する小・中学生及び高校生、丹波市に住民票のある小・中学生及び高校生、並びに丹波市立小学校または中学校を卒業した中学生及び高校生を対象とし、スポーツや文化活動の全国大会に出場した場合に激励金を支給することによって、児童生徒のスポーツ、文化活動の振興をより一層図る。また、活躍する小・中学生、高校生を応援することで、丹波市のPRや、『「帰ってこいよ」のまちづくり』、「ふるさとを愛しこころ豊かでたくましい人づくり」につなげる。

2 学校の魅力づくり・ふるさと意識の醸成

- 市内の県立高等学校、地域、企業などが、協働して特色のある教育や高等学校の魅力化に取り組み、小中学生が市内高等学校に魅力を感じて進学することによって、高等学校の活性化と地域活力の向上を図る。
兵庫県立氷上西高等学校については、e スポーツ*部の活動として地域や関係団体との交流事業に取り組めるよう支援する。
兵庫県立柏原高等学校については、魅力化を推進する組織の立ち上げとともに、生徒が地域や企業など多様な主体と協働しながら探究活動や挑戦したいことに取り組める環境の整備を支援する。

施策成果指標一覧

施策	指標	計画策定時(H30)	実績値(R4)	目標値(R6)	出典
I 生きる力をはぐむ学校教育の推進					
1 次世代を生きぬく学力の育成	授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童生徒の割合	小学校 76.3% 中学校 71.6%	小学校 76.6% 中学校 75.9%	小学校 81.3% 中学校 81.6%	全国学力・学習状況調査 (小6・中3)
	プログラミング教育を指導できる教員の割合	小学校 15.1% 中学校技術教員 -	小学校 64.7% 中学校技術教員 -	小学校 100% 中学校 100%	市独自のICT活用調査におけるプログラミング教育を実践した小学校、中学校技術教員の割合の実績値
	英語検定3級相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合	37.4%	39.3%	50.0%	英語教育実施状況調査
2 豊かなこころの育成	いじめのあったときに「誰にも相談しない」と回答する児童生徒の割合(1年間の平均値)	6.0%	6.2%	3.0%未満	丹波市いじめアンケート
	情報モラルに関する授業を受けた児童生徒の割合	小学校 91.5% 中学校 97.3%	小学校 74.2% 中学校 93.5%	小学校 100% 中学校 100%	児童生徒のスマートフォン等の利用に係るアンケート調査
3 健やかな体の育成	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の基礎的運動要因8項目のうち、課題のある4項目において全国平均を上回る項目数	小学男子 0項目 小学女子 0項目 中学男子 1項目 中学女子 1項目	小学男子 2項目 小学女子 2項目 中学男子 2項目 中学女子 1項目	小学男子 4項目 小学女子 4項目 中学男子 4項目 中学女子 4項目	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	93.4%	95.5%	100%	全国学力・学習状況調査
	地域と連携した防災訓練の実施率	90.0%	89.7%	100%	防災教育に関する実態調査
4 丹波市のフィールドを活かした教育の推進	地域や社会で起こっている出来事に関心がある児童生徒の割合	60.7%	39.1%	70.7%	全国学力・学習状況調査
	キャリアノートを活用するとともに、地域貢献活動を実施した小学校の割合	-	100%	100%	丹波市独自調査
5 幼児教育・保育の推進	研修で学んだことをいかして保育の工夫・改善を行うことができたと答えた保育教諭の割合	-	90.0%	100%	研修アンケート
	認定こども園のアプローチプログラムの作成	1園	11園	13園	丹波市独自調査
6 一人ひとりのニーズに応じた教育の推進	「学校の教員は、特別支援教育について理解し、授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫をよく行った」と答えた学校の割合(小中の平均)	65.3%	64.3%	80.0%	全国学力・学習状況調査 学校質問紙
	適応指導教室で、ICTを活用して個別学習を実施した学校の割合	-	100%	100%	レインボー教室での実施状況
	「多文化交流Day」に参加した児童生徒の交流に関する満足度	-	100.0%	80.0%	交流Dayアンケート
7 人権教育の推進	いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う児童生徒の割合	97.7%	96.9%	100%	全国学力・学習状況調査
	中学3年間で、デートDVの授業により、学習した生徒の割合(中学3年生)	-	84.0%	100%	丹波市独自調査

施策	指標	計画策定時(H30)	実績値(R4)	目標値(R6)	出典
II 生涯を通じて学び、活躍できる生涯学習の推進					
1 地域の将来を担う人づくり	地域の人々が学校と連携・協働して子どもの成長を支えていると思う市民の割合	-	51.1%	80.0%	丹波市市民意識アンケート
	コミュニティ・スクールを導入している中学校の割合	14.3%	85.7%	100%	学校運営協議会制度導入中学校の数
	1年間に、子どもの教育・育成に関する活動へ参画した割合	12.7%	9.2%	20.0%	丹波市生涯学習活動に関するアンケート調査
	少年少女スポーツの指導者が指導者資質向上を目的とした研修会へ参加した割合	32.6%	-	50.0%	文化・スポーツ課資料
2 学びの成果を活かせる社会教育	1年以内に生涯学習を行った市民の割合	56.0%	62.3%	70.0%	丹波市生涯学習活動に関するアンケート調査
	学びの活動で身についた知識や技能をいかしたいと思う市民の割合	34.2%	34.4%	40.0%	丹波市生涯学習活動に関するアンケート調査
	市民活動を行いやすい環境が整備され、支援体制が整っていると思う市民の割合	34.9%	38.1%	40.0%	丹波市生涯学習活動に関するアンケート調査
3 地域資源を活かした学びの推進	丹波竜化石工場の来館者数	65,407人	75,694人	66,000人	恐竜課資料
	氷上回廊水分れフィールドミュージアムの入館者数(事業参加者数を含む)	2,035人	35,157人	30,000人	社会教育・文化財課資料
4 文化芸術に親しむこころ豊かな市民生活の醸成	美術館への入館者数	18,369人	15,879人	24,000人	植野記念美術館資料
	文化ホール事業の来館者数	21,414人	17,671人	28,000人	文化・スポーツ課資料
	丹波アートコンペティションの作品応募数(市民のみ)	143点	254点中83点	170点	文化・スポーツ課資料
5 暮らしにとけこむ図書館づくり	図書館登録者のうち当該年度に図書館資料を借受けた登録者の数(有効登録者数)	8,205人	6,595人	8,700人	図書館統計資料
	図書館サポーターの活動実績人数	211人	188人	300人	図書館資料
	児童図書の貸出総冊数	177,867冊	177,355冊	180,000冊	図書館統計資料
6 歴史文化遺産の保存・活用と継承	1年以内に地域の伝統芸能や伝統行事へ参加した、または鑑賞したことがある市民の割合	51.9%	33.5%	57.0%	丹波市市民意識アンケート
	指定文化財保存整備等の補助事業数	14事業	3事業	20事業	社会教育・文化財課資料
7 家庭教育の充実	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	93.4%	95.5%	100%	全国学力・学習状況調査
	子育てを地域みんなで協力し、支えていると思う市民の割合	46.7%	39.6%	80.0%	丹波市市民意識アンケート
8 豊かな人権文化を創造する人権教育	住民人権学習の実施率	92.0%	72.5%	100%	人権啓発センター資料
	地域人権教育事業に参加した生徒数	302人	254人	400人	人権啓発センター資料
	企業・事業所の人権学習への講師紹介・派遣件数	0件	1件	5件	人権啓発センター資料

施策	指標	計画策定時(H30)	実績値(R4)	目標値(R6)	出典
Ⅲ 学びを支える環境の整備					
1 教職員の資質・能力及び学校の組織力の向上	授業中にICTを活用して指導できる教員の割合	84.5%	86.4%	100%	文部科学省調査を元に丹波市独自算出
	管理職研修の内容が、組織力向上に活かされると回答した割合	-	98.1%	100%	研修後アンケート
	月に45時間以上超過勤務を行う教職員の割合	34.3%	20.6%	0%	記録簿集計表のとりまとめ
2 学校給食の充実	衛生上の支障を懸念して給食を停止した回数	0回	0回	0回	学校において異常を発見し、喫食を停止させた回数
	学校給食費(現年分)の徴収率	98.4%	99.1%	99.5%	給食費収入額/給食費調定額
	地場野菜(主要15品目)の使用割合	27.3%	25.4%	30.0%	主要15品目野菜の地場使用量/主要15品目野菜の総使用量
3 安全・安心な学習環境の整備・充実	長寿命化計画におけるトータルコストの削減	3校	1校	4校	学校施設長寿命化計画
	通学路における事故件数(小中学校)	17件	4件	0件	事故発生報告書
	常勤教職員1人1台体制の維持	100%	100%	100%	学校ICT支援員業務報告書
	コンピュータウイルス、サイバー攻撃、不正アクセス等による情報セキュリティ事故の発生件数	0件	0件	0件	学校教育課資料
4 学校の適正規模・適正配置	市島地域小学校統合のあり方	提言	竹田小・前山小のR6.4月統合の決定	検討組織による方針確定	市島地域におけるよりよい教育環境の整備等についての提言
	丹波市立学校適正規模・適正配置基本方針の見直し	-	-	見直し後の方針に沿った取組	丹波市立学校適正規模・適正配置方針
5 教育委員会活動の活性化	教育委員会からの情報発信(市のホームページや広報等)は内容が充実していると思う市民の割合	33.7%	35.9%	50.0%	丹波市市民意識アンケート
	自己点検・評価による改善施策数	-	3施策	10施策	教育委員会自己点検・評価
	教育委員の活動件数	289件	180件	300件	教育委員活動報告

数字で見る

丹波市の教育の現状



市立学校一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
市立学校学級数及び児童生徒数の推移・・・・・・・・	P 2
市内未就学児童数一覧（小学校区別）・・・・・・・・	P 3
文化財一覧（指定等文化財件数）・・・・・・・・	P 4
不登校出現率、 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う割合・・	P 5
丹波竜化石工房入館者数、植野記念美術館入館者数・・	P 6
図書館蔵書冊数・貸出冊数、 市民一人あたりの図書館蔵書冊数・貸出冊数・・	P 7
学校給食地場野菜（主要 15 品目）使用数量・割合、 学校給食費徴収率（現年分）	
丹波市奨学金給付条例による高等学校等奨学金受給者数・・	P 8
教育委員会事務局組織構成図・・・・・・・・	P 9
教育支援センター、学校給食センター、 社会教育施設・生涯学習施設一覧・・・・・・・・	P10

市立学校一覧

○小学校

令和5年5月1日現在

	小学校名	所在地	電話	児童数			学級数	教職員数
				男	女	合計		
柏原	崇広小学校	柏原町柏原683	72-0533	207	201	408	16	27
	新井小学校	柏原町大新屋698-2	72-0346	42	50	92	8	13
山南	上久下小学校	山南町青田156	78-0504	25	20	45	5	9
	久下小学校	山南町谷川2276	77-0607	63	38	101	8	13
	小川小学校	山南町井原427-1	77-0048	56	51	107	7	13
	和田小学校	山南町和田1	76-0002	87	106	193	9	16
氷上	南小学校	氷上町佐野530	82-0011	72	43	115	8	13
	中央小学校	氷上町成松186-1	82-1033	129	117	246	13	19
	西小学校	氷上町上新庄524	82-0204	63	52	115	8	12
	北小学校	氷上町絹山608	82-7030	68	71	139	8	13
	東小学校	氷上町石生585	82-0334	150	125	275	14	23
青垣	青垣小学校	青垣町佐治282-3	87-0043	136	131	267	15	22
市島	竹田小学校	市島町中竹田1703-1	86-0465	34	44	78	8	14
	前山小学校	市島町上竹田12-1	85-0427	28	33	61	7	12
	吉見小学校	市島町上田222-1	85-0017	78	70	148	7	16
	三輪小学校	市島町酒梨205	85-0671	48	42	90	7	14
春日	春日部小学校	春日町多利1774	74-0112	35	71	106	8	13
	大路小学校	春日町下三井庄1080	75-0458	42	46	88	6	11
	進修小学校	春日町国領1011-1	75-0037	53	44	97	8	14
	黒井小学校	春日町黒井2205	74-0035	94	86	180	8	12
	船城小学校	春日町朝日90	74-0142	28	27	55	6	12
合 計				1,538	1,468	3,006	184	311

教職員数は、県費負担教職員定数(目的加配教職員含む。臨時講師等、市費職員を除く)による。

竹田小学校と前山小学校は、令和6年度に竹山小学校に統合

○中学校

令和5年5月1日現在

	中学校名	所在地	電話	生徒数			学級数	教職員数
				男	女	合計		
柏原	柏原中学校	柏原町南多田1226	72-0077	161	107	268	11	23
山南	山南中学校	山南町谷川1348	88-5730	119	128	247	10	26
氷上	氷上中学校	氷上町成松103	82-1148	242	232	474	19	35
青垣	青垣中学校	青垣町小倉365-1	87-0212	62	71	133	7	18
市島	市島中学校	市島町上垣2002	85-0046	103	81	184	9	22
春日	春日中学校	春日町野村2476	74-2075	131	145	276	13	25
合 計				818	764	1,582	69	149

教職員数は、県費負担教職員定数(目的加配教職員含む。臨時講師等、市費職員を除く)による。

市立学校学級数及び児童生徒数の推移

毎年度5月1日現在

			学級数、児童生徒数					4年度に 対する増減
			元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
柏原	小学校	学級	24	24	25	25	24	1
		人数	506	502	504	508	500	8
	中学校	学級	12	11	12	11	11	0
		人数	308	285	288	256	268	12
	計	学級	36	35	37	36	35	1
		人数	814	787	792	764	768	4
山南	小学校	学級	32	34	33	31	29	2
		人数	471	482	464	443	446	3
	中学校	学級	14	13	13	13	10	3
		人数	236	225	233	249	247	2
	計	学級	46	47	46	44	39	5
		人数	707	707	697	692	693	1
氷上	小学校	学級	52	53	53	54	51	3
		人数	961	932	927	938	890	48
	中学校	学級	18	18	17	18	19	1
		人数	471	465	467	473	474	1
	計	学級	70	71	70	72	70	2
		人数	1,432	1,397	1,394	1,411	1,364	47
青垣	小学校	学級	15	14	16	15	15	0
		人数	290	279	279	266	267	1
	中学校	学級	6	6	7	7	7	0
		人数	123	131	134	134	133	1
	計	学級	21	20	23	22	22	0
		人数	413	410	413	400	400	0
市島	小学校	学級	37	37	37	37	29	8
		人数	383	394	383	382	377	5
	中学校	学級	9	8	8	8	9	1
		人数	234	211	217	190	184	6
	計	学級	46	45	45	45	38	7
		人数	617	605	600	572	561	11
春日	小学校	学級	41	42	41	37	36	1
		人数	545	563	557	544	526	18
	中学校	学級	12	11	11	11	13	2
		人数	294	279	265	254	276	22
	計	学級	53	53	52	48	49	1
		人数	839	842	822	798	802	4
合 計	小学校	学級	201	204	205	199	184	15
		人数	3,156	3,152	3,114	3,081	3,006	75
	中学校	学級	71	67	68	68	69	1
		人数	1,666	1,596	1,604	1,556	1,582	26
	計	学級	272	271	273	267	253	14
		人数	4,822	4,748	4,718	4,637	4,588	49

市内未就学児童数一覧(小学校区別)

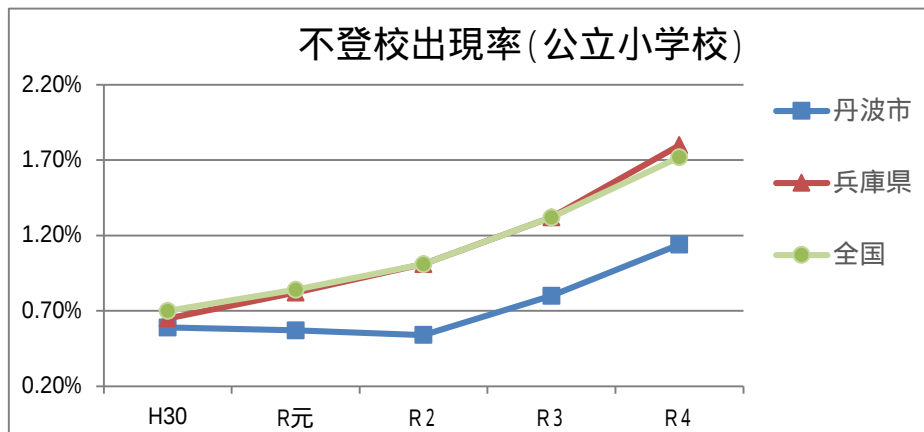
令和5年4月2日時点

地域名	年 齢	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
	生年月日 校 区 名	R4.4.2 ~ R5.4.1	R3.4.2 ~ R4.4.1	R2.4.2 ~ R3.4.1	H31.4.2 ~ R2.4.1	H30.4.2 ~ H31.4.1
柏 原	崇 広	51	60	46	79	61
	新 井	16	28	22	14	20
	計	67	88	68	93	81
山 南	上 久 下	2	7	5	6	7
	久 下	17	23	20	19	21
	小 川	10	9	11	10	15
	和 田	20	19	25	26	35
	計	49	58	61	61	78
氷 上	南	11	13	16	24	20
	中 央	33	34	37	29	28
	西	14	15	10	11	9
	北	14	21	18	18	21
	東	46	29	43	47	46
	計	118	112	124	129	124
青 垣	青 垣	23	23	27	27	33
	計	23	23	27	27	33
市 島	竹 田	16	11	11	11	15
	前 山	4	7	6	6	6
	吉 見	20	23	25	23	26
	三 輪	7	13	8	12	10
	計	47	54	50	52	57
春 日	春 日 部	13	12	18	24	17
	大 路	10	11	14	10	13
	進 修	16	15	16	12	21
	黒 井	27	26	21	32	27
	船 城	1	9	5	5	5
	計	67	73	74	83	83
合 計		371	408	404	445	456

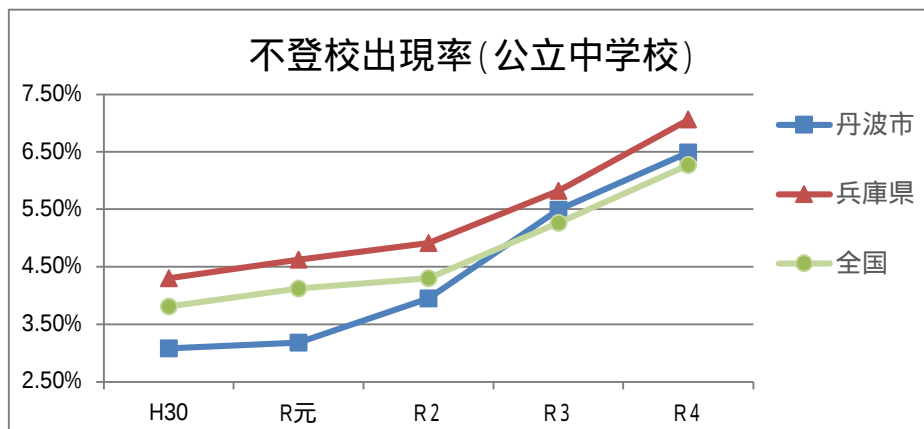
文化財一覧(指定等文化財件数)

令和5年12月現在

指 定 種 別	有 形 文 化 財									無 形 文 化 財	民 俗 文化財		記 念 物			文 化 財 保 存 技 術	合 計
	建 造 物	絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 跡	典 籍	古 文 書	歴 史 資 料	考 古 資 料		有 形	無 形	史 跡	名 勝	天 然 記 念 物		
国指定	3	1	8		2						1		3				18
国選定																2	2
国選択										1		1					2
国登録	18																18
県指定	18	4	4	7			1		2			1	4		3		44
県登録	1																1
市指定	30	20	35	28	12	1	13	3	8	1	6	15	16	4	26		218
合 計	70	25	47	35	14	1	14	3	10	2	7	17	23	4	29	2	303

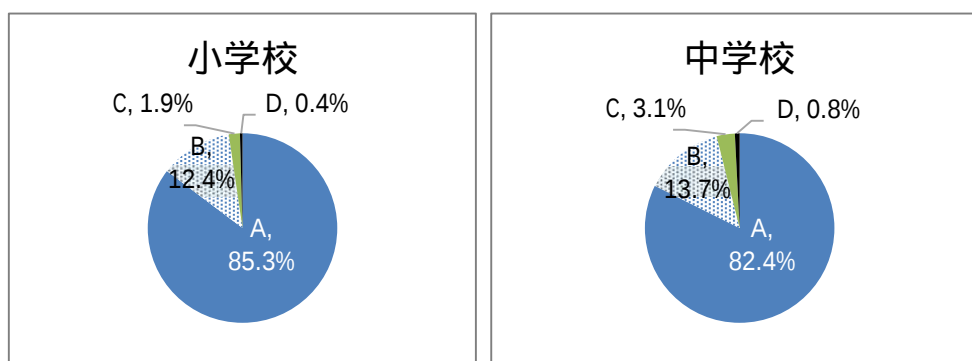


年 度	H30	R元	R2	R3	R4
丹波市	0.59%	0.57%	0.54%	0.80%	1.14%
兵庫県	0.65%	0.82%	1.01%	1.32%	1.80%
全国	0.70%	0.84%	1.01%	1.32%	1.72%

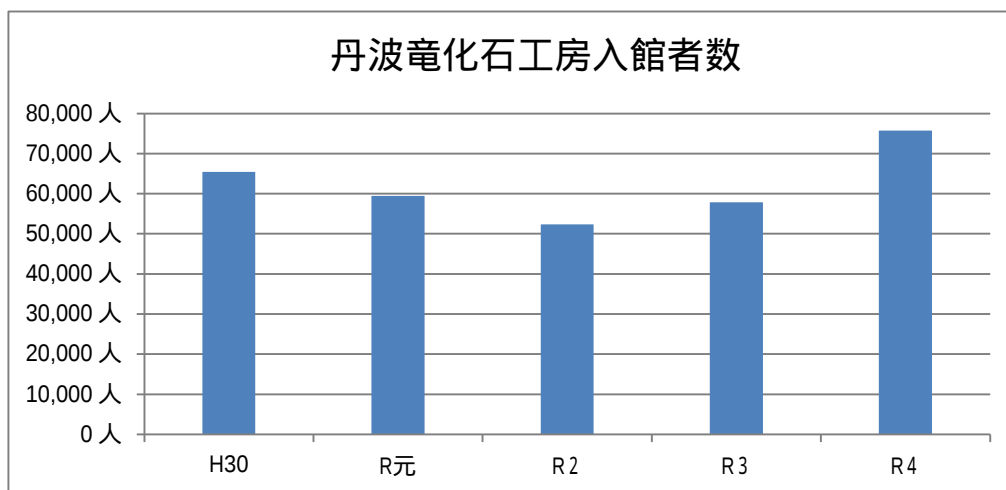


年 度	H30	R元	R2	R3	R4
丹波市	3.08%	3.18%	3.95%	5.49%	6.49%
兵庫県	4.30%	4.62%	4.91%	5.82%	7.06%
全国	3.81%	4.12%	4.30%	5.26%	6.27%

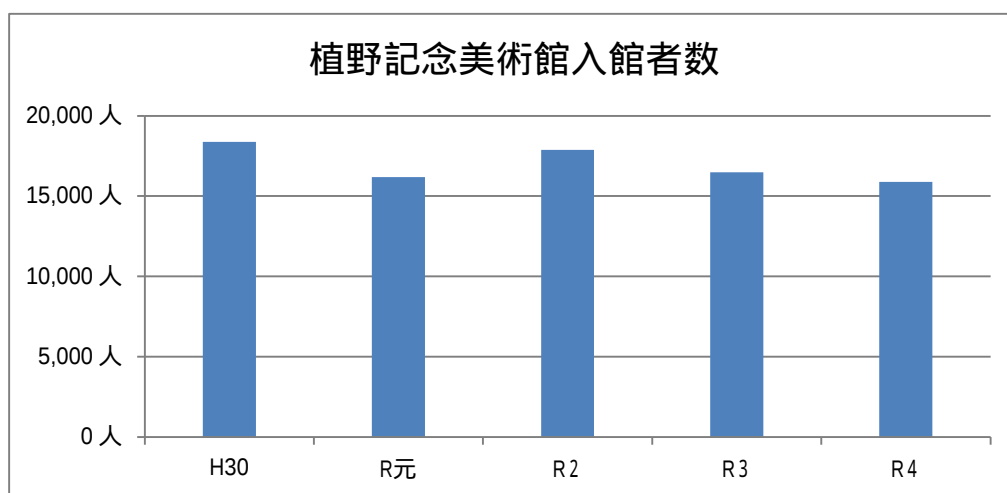
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う割合



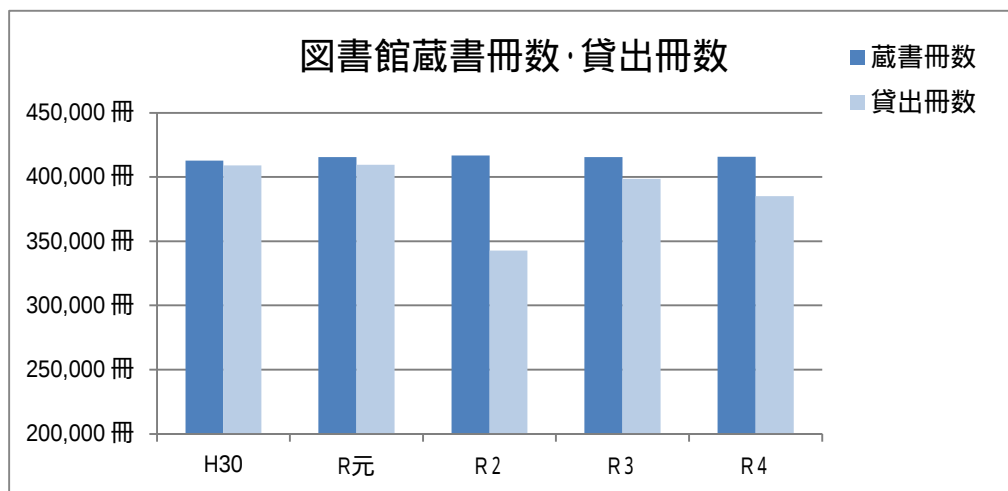
R4	思う A	どちらかといえ ば思う B	どちらかといえ ば思わない C	思わない D	無回答 E
小学校	85.3%	12.4%	1.9%	0.4%	0.0%
中学校	82.4%	13.7%	3.1%	0.8%	0.0%



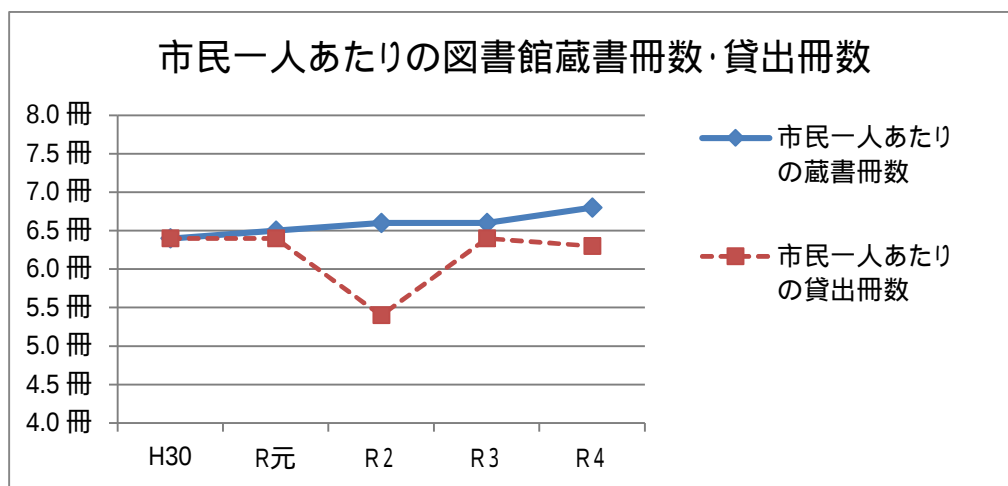
年 度	H30	R元	R2	R3	R4
入館者数	65,407 人	59,472 人	52,326 人	57,856 人	75,694 人



年 度	H30	R元	R2	R3	R4
入館者数	18,369 人	16,185 人	17,874 人	16,470 人	15,879 人

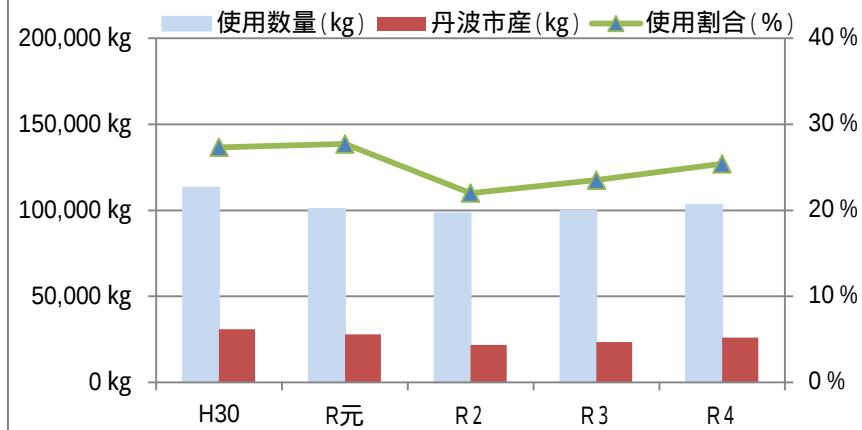


年 度	H30	R元	R2	R3	R4
蔵書冊数	412,708 冊	415,359 冊	416,753 冊	415,518 冊	415,813 冊
貸出冊数	409,041 冊	409,486 冊	342,637 冊	398,606 冊	385,110 冊



年 度	H30	R元	R2	R3	R4
市民一人あたりの蔵書冊数	6.4 冊	6.5 冊	6.6 冊	6.6 冊	6.8 冊
市民一人あたりの貸出冊数	6.4 冊	6.4 冊	5.4 冊	6.4 冊	6.3 冊

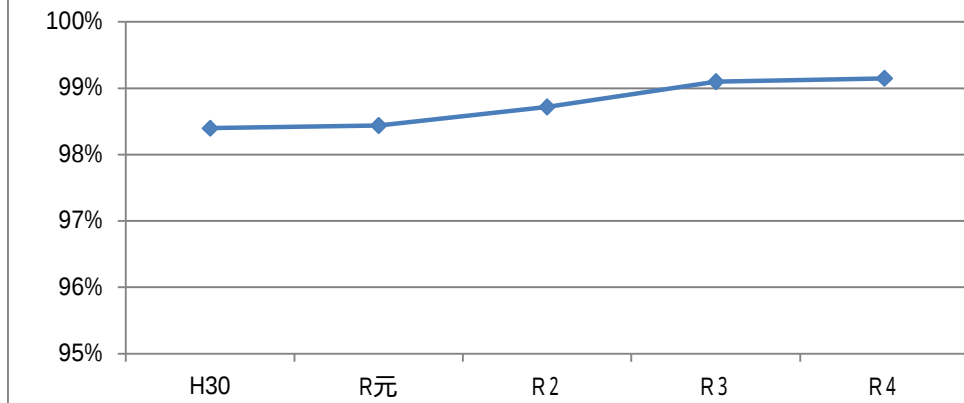
学校給食 地場野菜(主要15品目)使用数量・割合



年 度	H30	R元	R2	R3	R4
使用数量 (kg)	113,021 kg	100,792 kg	98,238 kg	99,593 kg	102,947 kg
丹波市産 (kg)	30,855 kg	27,903 kg	21,615 kg	23,384 kg	26,109 kg
使用割合 (%)	27.3 %	27.7 %	22 %	23.5 %	25.4 %

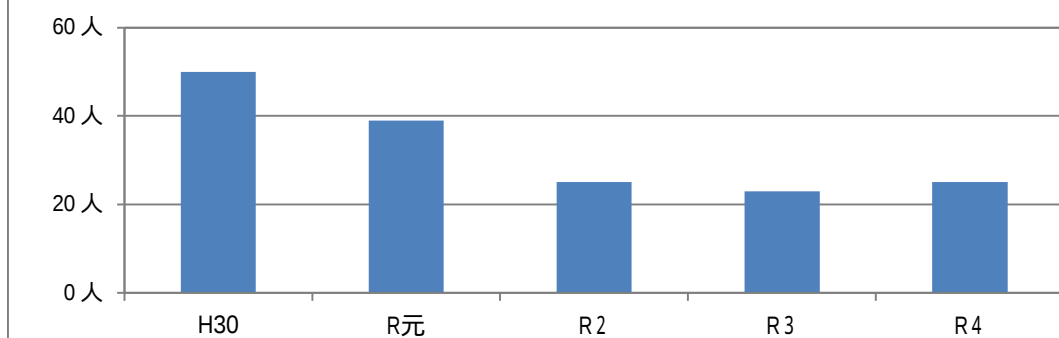
米、果物等を除く

学校給食費徴収率(現年分)



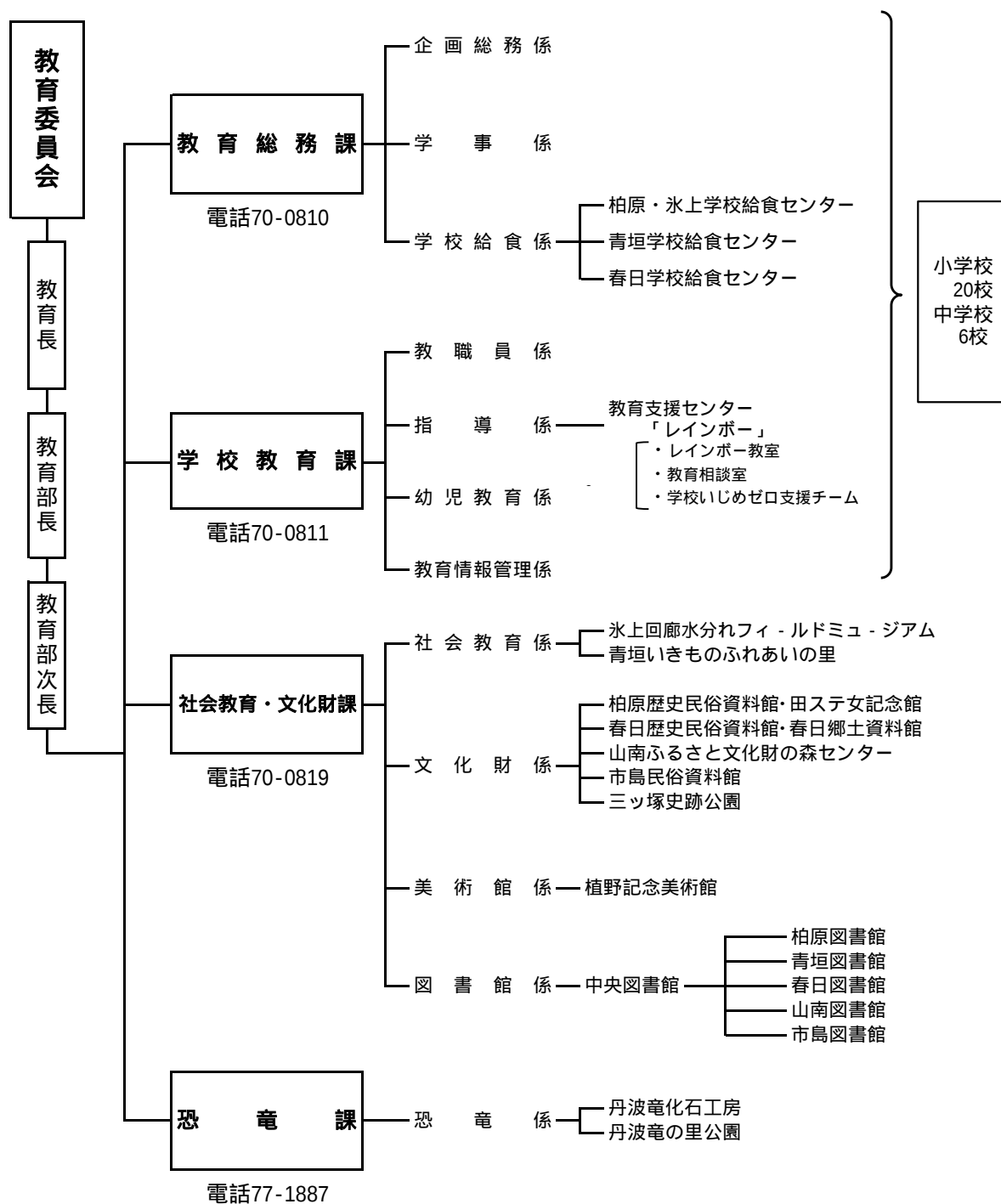
年 度	H30	R元	R2	R3	R4
徴 収 率	98.40%	98.44%	98.72%	99.10%	99.15%

丹波市奨学金給付条例による高等学校等奨学金受給者数



年 度	H30	R元	R2	R3	R4
受給者数	50 人	39 人	25 人	23 人	25 人

教育委員会事務局組織構成図(予定)(令和6年4月)



教育支援センター、学校給食センター、社会教育施設・生涯学習施設一覧

(令和6年4月)

○教育支援センター「レインボー」

名 称	所 在 地	電話番号
レインボー教室	〒669-4141 春日町黒井1519-1	74-0710
教育相談室	〒669-4141 春日町黒井1519-1	74-3220
学校いじめゼロ支援チーム	〒669-4141 春日町黒井1519-1	74-0711

○学校給食センター

施 設 名	所 在 地	電話番号
柏原・氷上学校給食センター	〒669-3464 氷上町石生77-3	80-4050
青垣学校給食センター	〒669-3841 青垣町口塩久648-18	87-4430
春日学校給食センター	〒669-4132 春日町野村2476	70-3370

○社会教育施設・生涯学習施設

	施 設 名	所 在 地	電話番号
柏原	柏原図書館	〒669-3309 柏原町柏原5528	72-0313
	柏原歴史民俗資料館・田ステ女記念館	〒669-3309 柏原町柏原672	73-0177
	柏原住民センター(体育館・トレーニングルーム含む)	〒669-3309 柏原町柏原5528	72-2552
氷上	中央図書館	〒669-3602 氷上町常楽233	82-7100
	植野記念美術館	〒669-3603 氷上町西中615-4	82-5945
	氷上回廊水分れフィ・ルドミュ・ジウム	〒669-3464 氷上町石生1155	82-5912
	氷上住民センター(体育館含む)	〒669-3692 氷上町成松字甲賀1	82-3719
	丹波市市民プラザ	〒669-3467 氷上町本郷300	82-8682
	氷上総合グラウンド	〒669-3613 氷上町上新庄字西川3	82-0604
	大師の杜ホール(体育館)	〒669-3641 氷上町絹山346	82-8899
青垣	青垣図書館	〒669-3892 青垣町佐治114	87-1111
	旧朝倉家住宅	〒669-3811 青垣町佐治114	70-0819(社会教育・文化財課)
	青垣いきものふれあいの里	〒669-3833 青垣町山垣2115-6	88-0888
	青垣住民センター(体育館含む)	〒669-3811 青垣町佐治114	87-0363
	丹波布伝承館	〒669-3803 青垣町西芦田541-1	80-5100
	青垣総合運動公園(グリーンベル青垣)	〒669-3804 青垣町田井縄782	87-2200
春日	春日図書館	〒669-4192 春日町黒井496-2	74-1611
	春日歴史民俗資料館・春日郷土資料館	〒669-4141 春日町黒井496-2	70-0819(社会教育・文化財課)
	春日住民センター(春日文化ホール含む)	〒669-4141 春日町黒井496-2	74-0225
	春日総合運動公園	〒669-4252 春日町下三井庄735	75-1030/87-2200(プールのみ)
	春日体育センター	〒669-4141 春日町黒井496-2	74-0225
山南	山南図書館	〒669-3198 山南町谷川1110	77-0336
	旧友井家住宅	〒669-3145 山南町野坂字西山田203	70-0819(社会教育・文化財課)
	山南ふるさと文化財の森センター	〒669-3103 山南町篠場447	70-0819(社会教育・文化財課)
	丹波竜化工工房	〒669-3198 山南町谷川1110	77-1887(恐竜課)
	丹波竜の里公園	〒669-3101 山南町上滝1916	77-1887(恐竜課)
	山南住民センター・やまなみホール	〒669-3131 山南町谷川1110	77-0310
	山南B&G海洋センター(体育館)	〒669-3145 山南町野坂176-2	77-0310
	山南武道場	〒669-3145 山南町野坂176-2	77-0310
市島	市島図書館	〒669-4322 市島町上田814	85-2733
	市島民俗資料館	〒669-4322 市島町上田1134	70-0819(社会教育・文化財課)
	三ツ塚史跡公園	〒669-4322 市島町上田800	70-0819(社会教育・文化財課)
	ライフピアいちじま(ライフピアいちじま大ホール含む)	〒669-4322 市島町上田814	85-3030
	市島市民グラウンド	〒669-4321 市島町上垣902-1	85-3030
	三ツ塚テニスコート	〒669-4322 市島町上田1132	85-3030
	三ツ塚ふれあいセンター愛育館	〒669-4322 市島町上田1139	85-2660
	スポーツピアいちじま	〒669-4302 市島町中竹田6121-3	86-0100

用語解説

用語解説

【アルファベット】

用 語	説 明
ALT	Assistant Language Teacher の略。日本人外国語担当教員の助手として従事し、学校や地域の外国語教育及び国際化向上のために活動する外国語指導助手。
E-letter	中学生がオーストラリアの生徒へ英語で手紙を書き交流を図る取組。外国語を読んだり書いたりする機会を充実させ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
GIGA スクール構想	Global and Innovation Gateway for All の略。全国の学校で義務教育を受ける児童生徒に、1人1台の学習者用PCやクラウド活用を前提とした高速ネットワーク環境などを整備する計画をまとめたもの。
ICT	Information and Communication Technology の略。情報や通信に関する技術の総称。
SNS	Social Networking Service の略。インターネット上の交流をとおして社会的ネットワークを構築するサービス。

【あ行】

用 語	説 明
アプローチプログラム	幼児期の発達や学びを小学校教育に円滑に接続するための5歳児後半（アプローチ期）における教育課程。
新たな教師の学びの姿	中央教育審議会答申（令和3年度答申）で示された「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等のあり方として整理して示されたもの。多様な専門性を有する質の高い教職員集団を形成することを目指している。
アントレプレナーシップ教育	精神的、経済的に自立した個人として問題意識を持ち、新しいことに挑戦することで社会をよりよくしていける人材の育成をめざす教育。起業家教育ともいう。
石垣カルテ	史跡等の石垣について、地震等により崩落等の被害が発生した場合に復元や補修を行うことができるようにするため、調査測量による現状把握を行い基礎資料としてまとめたもの。
いじめ報告・相談アプリ STANDBY	生徒がいじめなどの問題行動を匿名で相談・報告できるいじめ報告・相談アプリ。

e スポーツ	Electronic Sports（エレクトロニック・スポーツ）の略称。電子機器を用いて行うオンラインゲームやビデオゲームでの対戦で、知略や戦略、プレイヤースキルなど競技性を含むため、「スポーツ」として捉えられている。性別、障がいの有無、身体的能力などの違いを乗り越え、e スポーツを通じて戦略的思考や経験が得られることや、世界規模でのコミュニケーションの機会を得られるものとして近年注目されている。
ウェルビーイング	身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含み、また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念。ウェルビーイングの実現とは、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなること。
家読（うちどく）	「家庭読書」の略語。家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的にした読書運動。

【か行】

用 語	説 明
外国人児童生徒語学指導者	日本語指導が必要な外国につながるの児童生徒に対し、コミュニケーションの円滑化を促すとともに、学校生活への早期適応を促進するために支援する指導者。
外国につながるの児童たち	国籍を問わず、文化的・言語的に多様な背景をもつ子どもたちのこと。親は外国籍であるが日本国籍を有する子どもや、自身が外国籍であるが国籍の国よりも日本で生活が長い子どもなどを含む。
学校いじめゼロ支援チーム	丹波市立教育支援センターに常駐し、児童生徒やその家族、学校関係者からのいじめに関する相談に応じ、いじめの未然防止および早期対応・早期解決に向けて支援する専門家。
学校運営協議会	教育委員会が個別に指定する学校ごとに、当該学校の運営に関して協議するためにおく機関。
学校図書サポーター	児童生徒が本に親しみ、読書意欲を高めることができるよう、図書館教育担当教員と連携して学校図書館の環境整備を行う地域人材。
カリキュラム・マネジメント	学校（園）の教育（保育）目標の実現に向けて、各学校（園）が子どもや地域の実態を踏まえ、教育課程（カリキュラム）の編成、実施、評価、改善を計画的・組織的にすすめる、教育（保育）の向上を図ること。
基礎トレーニングハンドブック	神経系を刺激する体づくり運動に関するカードのこと。

キャリア教育	一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育て、キャリア発達を促す教育。
キャリアノート	キャリア発達を促す様々な学習経験や活動の記録などを児童生徒自身が書き込むノート。各学年で書き込んだものを1冊のファイルにして、小学1年生から中学3年生までつないでいく。
キャリア・パスポート	キャリアノートの内容をもとに毎学期末の振り返りを行い、その際に児童生徒が書き込んだものを1冊のファイルにして、小学校から高等学校までの12年間をつないでいく。
教育振興基本計画	教育基本法（平成18年法律第120号）第17条第1項に基づき、政府が策定する教育の振興に関する施策についての総合計画。
教育普及	博物館が持つ四つの機能（資料の「収集・保存（保管）」、「調査・研究」、「展示」、「教育普及」）の一つで、資料を活用した教育を目的とした活動の総称。学校教育における学習（授業）に関する情報提供や市民（子どもから大人まで）を対象にした教室や講座などを含む。
黒井城跡整備基本計画	国指定史跡に指定されている黒井城跡の保存管理や整備、活用の指針について定めた計画。
元気アップチャレンジシート	体づくり運動の継続した取組を促すために、児童のモチベーション向上を図りながら自己評価できるシート。
こども基本法	すべてのこどもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、こどもに関する取組を社会全体で推進していくための基本となる事項を定めた法律。
子ども司書	図書館や学校・地域において、読み聞かせや本の紹介などを行う読書活動のリーダー。丹波市では子ども司書の養成を目的として、小学4年生～6年生を対象に講座を開講している。
こどもまんなか社会	子どもたちにとって何が最も良いことなのかを常に考え、子どもに関する事項を中心に据えて優先的に取り組む社会。こどもまんなか社会の実現のためには、「こどもの参加」や「大人がこどもの意見を聴く」ことが重要である。
コミュニティ・スクール	学校が保護者や地域住民と一体となって学校運営の改善を図ることを目的として学校運営協議会を設置する制度。

【さ行】

用 語	説 明
篠山層群	丹波市山南地域の東部から丹波篠山市に分布する約1億1,000万年前～約1億年前の白亜紀の地層。丹波竜等の化石が発見された山南町上滝の地層は約1億1,000万年（前期白亜紀）のもの。

自己調整学習	児童生徒が自らの学習状況を把握し、主体的に学習を調整しながら進める学習方法。
自治協議会	小学校区や旧小学校区の範囲において、自治会など従来の地縁組織の活動を補完しながら、地域内の多様な主体が参画して地域課題の解決や魅力ある地域づくりに取り組む組織。自治振興会と呼ばれる地域もある。
情報モラル	情報社会を生き抜き、健全に発展させていく上で、すべての国民が身に付けておくべき考え方や態度。
住民人権学習支援者	市役所管理職や小・中学校の管理職（校長・教頭）が就き、自治会で実施される住民人権学習の支援や助言を行う。
住民人権学習推進員	各自治会において選任され、住民人権学習を推進する担当者。住民人権学習の企画や準備、住民への周知、学習会の進行などを行う。
熟議	保護者・教職員・地域住民など多くの当事者が「熟慮」と「議論」を重ねながら、ビジョンの共有や課題解決をしていくこと。
主体的・対話的で深い学び	知識の理解の質を高め資質・能力を育むため、新学習指導要領で示された考え方。「主体的な学び」とは、学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげること。「対話的な学び」とは、子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深めること。「深い学び」とは、習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けて深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えをもとに想像したりすることに向かうこと。
人権研修支援制度	企業・事業所などが自主的に実施する社内の人権研修会に講師を派遣する制度。
スクールカウンセラー	児童生徒や保護者の抱える悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能の充実を図るため、臨床心理に専門的な知識・経験を有する学校外の専門家。
スクール・サポート・スタッフ	学習プリント等の印刷業務、授業準備の補助等、教員のサポートを担当するスタッフ。
スクールソーシャルワーカー	問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境への働きかけや関係機関等とのネットワークの構築など、多様な支援方法を用いて課題解決の対応を図っていく福祉の専門家。
スタートカリキュラム	幼児期の発達や学びを小学校教育へ円滑に接続するために小学校入学当初に行われる教育課程。
性的マイノリティ	同性や両性に恋愛感情を持つ人や、身体の性とところの性が一致していないため性のあり方に違和感がある人などのこと。

生徒指導提要	小学校段階から高等学校段階までの生徒指導の理論・考え方や実際の指導方法等について、時代の変化に即して網羅的にまとめ、生徒指導の実践に際し教職員間や学校間で共通理解を図り、組織的・体系的な取組を進めることができるよう、生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書として作成したもの。
--------	--

【た行】

用 語	説 明
第 2 次丹波市立学校適正規模・適正配置方針	適切な教育環境の確保と充実した学校運営の取組や、子どもたちにとってよりよい教育環境を整備するために、丹波市における学校規模と学校配置の一体的な考えを示す方針。第 2 次の期間は 10 年（令和 3 年度～令和 12 年度）とする。
体力アップサポーター	児童生徒が運動する喜びや楽しさを実感する機会の充実や体育・運動能力の向上を図るために、学校に派遣される地域のスポーツ指導者や専門家。
第 6 次学校施設整備計画	大規模改造中心の整備ではなく、トータルコストの縮減と事業費の平準化を図り、定期的な施設の点検や診断結果を有効活用する整備計画。第 6 次の計画期間は令和 4 年度から令和 6 年度とする。
確かな学力	知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの。
多文化交流 Day	自国と異国の文化を尊重し、児童生徒が ALT 及び様々な国籍の人々と遊びなどの活動を通して交流する事業。
多様な性（LGBTQ+）	LGBTQ は、レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（生まれたときに法律的／社会的に割り当てられた性別とは異なる性別を生きる人）、クエスチョニング／クィア（自らの性のあり方を定めていない人、規範的な性のあり方に属さない人）の頭文字を取ったもので、性的マイノリティーの人々を指す総称の一つ。さらに、人間の多様な性のあり方を包括的に表す表記としての「+」が加わった LGBTQ+ という言葉もある。
丹波三宝	「丹波栗」「丹波黒大豆」「丹波大納言小豆」の三つの農産物は、丹波市が全国に誇る「宝物」ともいえる特産品であることから、合わせて「丹波三宝（たんばさんぼう）」と名付けられている。
丹波市学校施設等長寿命化計画	今後の学校施設の適正な維持管理を進めるにあたり、将来の財政負担の軽減や老朽化による事故等の危険リスクを低減するため、計画的かつ効率的な長寿命化改良の推進や、給食施設の整備による教育環境の向上を図ることを目的とした計画。「丹波市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 2 月）の施策方針を踏襲した公共施設の個別計画として、令和 2 年度から令和 41 年度までの 40 年間を計画期間とする。

丹波市教育振興基本計画	教育基本法（平成 18 年法律第 120 号）第 17 条第 2 項に基づき、丹波市が、国や県の計画を参酌し、丹波市の実情に応じて策定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画。
丹波市サポートファイル	乳幼児期から就労期に至るまでの連続した支援を行うため、関係機関との連携を図りつつ、子どもの実態や目標、支援方法など子どもに関する情報を共有するためのファイル。個別の教育支援計画。
丹波市市民活動支援センター	市民活動や住民自治活動、女性による活動、及び生涯学習活動への支援とともに、それらをつなぎ、分野や施策などの枠を超えて地域づくりを包括的に支援するセンター。複合施設「丹波市市民プラザ」を拠点とした事業を行いながら、地域づくりの現場である地域へ出向いた（アウトリーチ）支援も行っている。
丹波市のフィールドを活かした教育ガイド	市内の各小学校区における地域の教育実践（自然・文化・産業など）をまとめ、ふるさとについてより深く理解したり、調べ学習などに活用したりする資料。
丹波市文化財保存活用地域計画	文化財の保存・活用に関して具体的な目標や丹波市の取組を記した基本的なアクション・プラン。
丹波市防災教育モデルプラン	豪雨災害の教訓を踏まえて、小・中学校が地域と連携した防災教育を実施するための年間指導計画モデル。
丹波市防災教育教材「心つなぐ」	平成 26 年 8 月の豪雨災害を踏まえ、自然災害から自らの生命を守るため、主体的に行動する態度や共生のこころをはぐくむ防災教育を行うことを目的に作成した教材。
たんば啐啄塾	若手教員が、教科指導、学級経営、保護者や地域との連携等、教育活動全体にかかる優れた指導技術等を身につけるために行う丹波市独自の教職員研修。「啐啄同時（そったくどうじ）」から名称を付けている。
たんばふるさと学	丹波市の魅力ある教育資源（自然・文化・産業など）を活用し、学校・地域が連携しながら授業を行い、ふるさとへの愛着や誇りを持った子どもたちをはぐくむ教育。
地域学校協働活動	幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、話し合い学び合う中で、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る（「学校を核とした地域づくり」）ことを目指して行う様々な活動。例えば、子どもたちが地域に出て行って郷土学習を行ったり、地域住民と共に地域課題を解決したり、地域の行事に参画して共に地域づくりに関わるといった活動が挙げられる。
地域学校協働活動推進員	地域住民と学校との情報共有や地域住民への助言など、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割を担う地域人材。
中学校高等学校連携シート	特別な支援を必要とする生徒が高等学校へ進学するにあたり、支援を円滑に引き継ぐことを目的として、中学校での生活の様子や学習状況をまとめたシート。

通級	通常の学級に在籍していながら、障がいに応じた自立活動の指導を受けることのできる制度。
デジタルドリル	タブレットパソコン上で利用できるドリル型教材。自動採点、学習履歴の把握などができ、個々に合ったレベルやペースで、知識の確かな定着や、主体的に個人で学ぶ姿勢を支援する。
デート DV	交際相手から行われる暴力行為のこと。
読書通帳	一般用・子ども用があり、学校や家庭、図書館で読んだ本を記録する。50冊で満期となる。
読書マイスター	児童生徒の読書意欲を喚起し、読書習慣の形成を図るため、読書量が多い児童生徒を読書マイスターとして教育委員会が認定する制度のこと。
特別支援教育コーディネーター	学校内の関係者や外部の関係機関との連絡調整役、保護者に対する相談窓口、担任への支援、校内委員会の運営や推進役などの役割を担う教職員。
特別支援教育支援員	障がいのある児童生徒に対して食事、排泄、教室移動の補助等学校における日常生活動作の介助を行ったり、発達障害の児童生徒に対して学習活動上のサポートを行ったりする者。
図書館サポーター	図書館で活動する市民ボランティア。養成講座を受講後、各図書館で書架整理や図書補修、館内装飾などの活動を行う。
ドメスティック・バイオレンス（DV）	配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のこと。
トライやる・ウィーク	公立中学校2年生を対象に1週間にわたり実施する、地域や自然の中で行う多様な社会体験活動。

【な行】

用 語	説 明
にっぽん恐竜協議会構成市町	北海道むかわ町、熊本県御船町、群馬県神流町、兵庫県丹波篠山市、岩手県久慈市、福井県勝山市、徳島県勝浦町、石川県白山市および丹波市の6市4町で構成。（令和6年3月末現在）
日本語指導が必要な児童生徒	日本語以外の言語を家庭内で使用しているなどの事情により、「日本語で日常会話が十分にできない児童生徒」及び「日常会話ができて、学年相当の学習言語能力が不足し、学習活動への取組に支障が生じている児童生徒」のこと。
ニューリーダー、スクールリーダー	学校単位や地域単位の教職員組織・集団の中で、将来管理職となる者も含めて中核的・指導的な役割を果たすことが期待される教職員。
ネット de イングリッシュ	WEB 会議システム等を活用し、海外の児童とのライブ交流を行う学習。

【は行】

用 語	説 明
博学連携	博物館と学校がそれぞれの教育機能をいかして連携・協力し、よりよい形で子どもたちを教育していこうとする活動。
発達支持的生徒指導	児童生徒が自発的・主体的に自らを発達させていくことを尊重し、その発達の過程を学校や教職員がいかに支えていくかという視点に立った指導。
兵庫版道徳教育副読本	兵庫ゆかりの人物を取り上げるなど地域の特性をいかし、子どもたちの興味や関心を高めながら道徳教育のさらなる充実を図る教材。
ファイアウォール	組織のネットワークをインターネットなど外部ネットワークから直接アクセスできないようにするプログラムや機器のこと。
部活動指導員	中学校、高等学校等において、校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とする指導者。
複式学級	国の定める学級編制基準に照らして、児童・生徒数が少ないために一つの学年の児童又は生徒だけでは学級の編制ができない場合に、二つ以上の学年の児童・生徒を一つに編成した学級。
副籍	特別支援学校に在籍する児童生徒が、居住地の小中学校等の学級に置く副次的な学籍。
ブックトーク	特定のテーマに関する何冊かの本を、内容や解説を加えながら関連づけて順番に紹介すること。
プログラミング教育 プログラミング的思考	子どもたちがコンピュータに意図した処理を行うように指示することを体験しながら、将来どのような職業に就いても普遍的に求められる「プログラミング的思考」(論理的に考える力)を育成する教育。
保育カンファレンス	保育の工夫・改善を図るため、子どもの育ちや学び、保育環境、保育者のかかわりなどについて語り合うこと。
保育実践コーディネーター	保育の専門的な知見や豊富な実践経験を持ち、認定こども園を巡回して保育に関する助言・指導を行う者のこと。

【や行】

用 語	説 明
有機農業	化学肥料・化学合成農薬に頼らず、土や植物が本来もつ力を活かし、そこで生きる生き物と共生しつつ、自然との調和を大切にしながら行う環境にやさしい農法を用いて行われる農業のこと。丹波市では豊かな里山の暮らしを、未来の子どもたちに引き継ぐため、生産者だけでなく広く市民や企業がそれぞれの立場で参画し、手を取り合いながら大切な地域資源を守り、さらに未来に繋いでいくまちづくりを目指して、「オーガニックビレッジ」を宣言している。

【ら行】

用 語	説 明
竜学	小学6年生の希望者が、にっぽん恐竜協議会を構成する自治体を訪問し、恐竜を題材とした交流・学習を行う事業。
レインボー教室	何らかの原因により学校に行けない子どもたちや休みがちな子どもたちを対象にした通級施設。教育相談員や指導員がさまざまな相談に応じて支援活動を行う。活動内容は、悩み相談、学習活動、読書活動、創作活動、絵画、スポーツ、パソコンなど個々の実態に応じて行う。児童生徒だけでなく、保護者・教職員への相談業務、指導助言も行っている。これらの活動を通して子どもたちが生活リズムを整え、心や体に元気を取り戻し、学校復帰や社会的自立をめざす。場所は、丹波市春日町黒井、丹波市立教育支援センター「レインボー」内。

丹(まごころ)の里



丹波市

令和6年度 丹波市の教育

発行：丹波市教育委員会

住所：丹波市山南町谷川 1110 番地

(資料1)

令和6年度 社会教育関係団体補助金執行予定表

令和6年5月23日 社会教育委員の会議資料

【単位：円】

令和6年度 担当課名	団体名 (会員数)	令和6年度 予算額	令和5年度 補助金額	令和5年度 収入決算額	補助の目的	主な活動内容
市民活動課	丹波市子ども会育成協議会 (令和5年度会員数:2,977人)	100,000	100,000	479,209 (うち自主財 源の割合: 79%)	活動費補助	○オセロ大会 ・丹波市大会(7～8月頃開催) ・丹波ブロック大会(8月開催) ○自主事業の開催 ○県子連育成者大会他行事への参加 ○丹波市青少年育成事業への協力 ○理事会の開催
社会教育・文化財課	丹波市PTA連合会 (令和5年度会員数:4,087人)	260,000	260,000	1,358,137 (うち自主財 源の割合: 75%)	活動費補助	○リーダー研修会 保護者のメンタルヘルス・コミュニケーションに関する研修を予定 ○PTCA活動実践交流大会兼青少年育成 研修会 学校・家庭・地域が連携して子どもを育む 環境づくりに向けた研修を予定 ○正副会長(会計)常任委員会の開催 ○兵庫県PTA協議会行事への参加

※ 団体の活動状況を勘案のうえ、予算額の範囲内において、支出決定を行います。

※ 支出根拠要綱は、丹波市社会教育関係団体補助金交付要綱

丹波市社会教育委員名簿

任期 自 令和6年4月1日
至 令和8年3月31日

N0	氏 名	住 所	備 考
1	梅 垣 真 紀	柏原地域	
2	竹 安 今日子	柏原地域	
3	竹 岡 郁 子	山南地域	
4	森 奥 和 代	山南地域	
5	梅 谷 浩 子	氷上地域	
6	荒 木 伸 雄	氷上地域	
7	松 本 佳 則	氷上地域	
8	蔦 木 伸一郎	氷上地域	
9	橋 本 千 英	青垣地域	
10	橋 本 崇 史	青垣地域	
11	木 寺 郁 代	市島地域	
12	高 橋 典 子	市島地域	
13	足 立 まゆみ	春日地域	
14	細 見 勝	春日地域	
15	山 内 順 子	春日地域	

丹波市教育委員会事務局職員名簿

令和6年4月1日

役 職	氏 名	備 考
教育部長	足 立 勲	
教育部次長兼学校教育課長	山 本 浩 史	
恐竜課長	松 枝 満	
社会教育・文化財課長 兼文化財係長	小 畠 崇 史	
社会教育・文化財課 副課長兼社会教育係長	足 立 恵 一	
社会教育・文化財課 社会教育係	中 本 祐 史	

丹波市 まちづくり部職員名簿

令和6年4月1日

役 職	氏 名	備 考
まちづくり部長	谷 水 仁	
市民活動課長	山 内 邦 彦	
文化・スポーツ課長	木 村 成 志	
人権啓発センター所長	堂 本 祥 子	